



茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

(平成22年3月調査分)

《景気の現状判断DI》

	平成21年12月	平成22年3月	前回調査比
茨城県	33.0	41.8	+8.8
県北地域	39.0	40.2	+1.2
県央地域	33.9	42.4	+8.5
鹿行地域	28.1	38.4	+10.3
県南地域	34.6	44.4	+9.8
県西地域	28.9	43.6	+14.7

《景気の先行き判断DI》

	平成21年12月	平成22年3月	前回調査比
茨城県	34.8	44.0	+9.2
県北地域	35.6	40.2	+4.6
県央地域	37.7	47.0	+9.3
鹿行地域	36.8	43.1	+6.3
県南地域	33.8	45.4	+11.6
県西地域	29.8	44.1	+14.3

平成22年4月

茨城県企画部統計課

目 次

I	調査の概要	1
II	調査結果の概要	3
1	全県の動向	3
	(1) 景気の現状判断D I	3
	(2) 景気の先行き判断D I	4
2	地域別の動向	5
	(1) 景気の現状判断D I	5
	(2) 景気の先行き判断D I	8
3	回答率	10
III	景気の判断コメント	11
1	景気の現状判断コメント	11
2	景気の先行き判断コメント	21
3	その他の意見	31

問い合わせ先

統計課企画分析グループ TEL:029-301-2642

ホームページアドレス

<http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html>

調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から、景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで、県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県内全域を対象とする。また、全域を県北、県央、鹿行、県南及び県西の5地域に区分する。なお、各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。 ※平成22年3月1日現在

地域	市及び郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ヶ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向、企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から、(1)で示した地域ごとに60名、計300名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業種名	具	例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等		38	39	38	37	36	188
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業		17	16	17	18	19	87
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等		5	5	5	5	5	25
	計		60	60	60	60	60	300

3 調査事項

- (1) 景気の現状に対する判断（方向性）
- (2) (1) のコメント（理由）
- (3) 景気の先行きに対する判断（方向性）
- (4) (3) のコメント（理由）
- (5) その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は3月、6月、9月及び12月の年4回である。平成22年3月調査の調査期間は平成22年3月1日から平成22年3月31日である。

5 利用上の注意

- (1) DI (Diffusion Index) は景気の方向性 (景気が上向きか下向きか) をみるものであり、景気の水準を判断するものではない。
- (2) ウォッチャーの回答構成比は、小数第1位までの表示とし、表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって、構成比の合計は100%とならない場合がある。

DI(Diffusion Index)について

- 1 景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は、以下のとおり5段階としているが、それぞれに点数化し、これらを各回答区分の構成比 (%) に乗じて、景気の方向性をみるための指標 (DI) を算出している。

回答区分	良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
点数	+1	+0.75	+0.5	+0.25	0

2 具体例

回答者数100名で、回答内訳が以下の場合。

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15名	27名	25名	11名	22名

それぞれの回答構成比は

良くなって いる	やや良 くなっている	変わらない	やや悪 くなっている	悪くなって いる
15.0%	27.0%	25.0%	11.0%	22.0%

したがって、DI値は、

$$(1点 \times 15.0\%) + (0.75点 \times 27.0\%) + (0.5点 \times 25.0\%) + (0.25点 \times 11.0\%) + (0点 \times 22.0\%) = 50.5 \text{ となる。}$$

この値は、全員が「変わらない」と回答した場合は、 $(0.5点 \times 100\%) = 50$ となることから、50を上回っているときは、景気は上昇局面にあり、また50を下回っているときは、景気は下降局面にあるといえる。

調査結果の概要

1 全県の動向

(1) 景気の現状判断DI

3か月前と比較した景気の現状判断DIは41.8となった。12月調査分より8.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

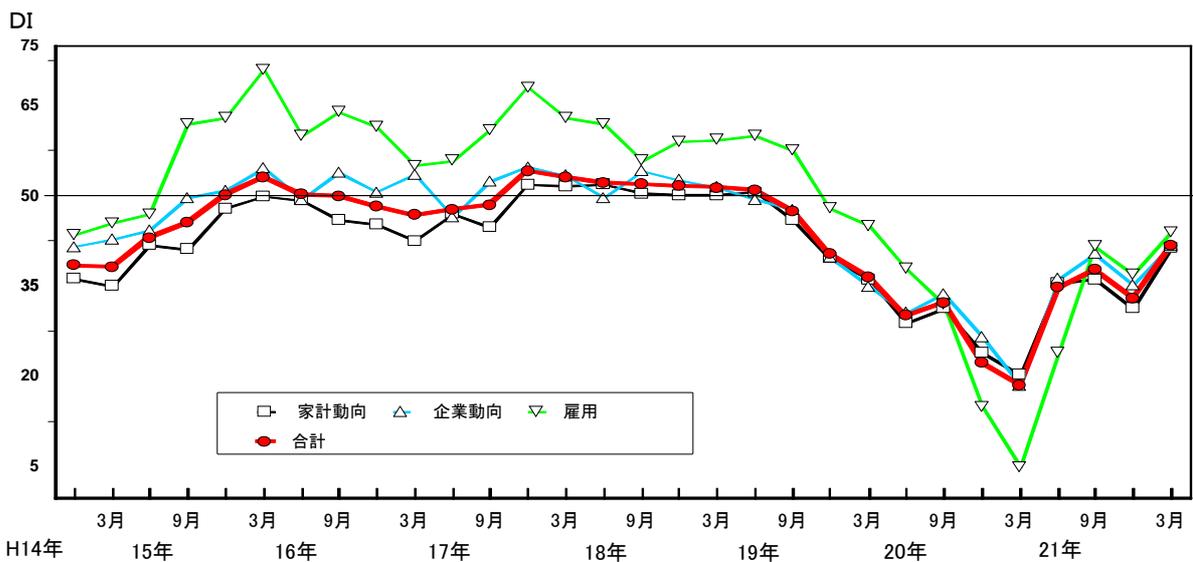
表1-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月
合計		18.5	34.8	37.8	33.0	41.8
家計動向関連		20.4	35.6	36.1	31.4	41.4
小売関連		17.5	38.5	35.8	27.0	38.0
飲食関連		26.4	31.6	36.3	33.8	42.5
サービス関連		21.3	33.8	35.3	33.3	42.7
住宅関連		22.2	36.1	44.4	44.4	55.6
企業動向関連		18.5	36.3	40.5	35.2	41.8
農林水産業		21.9	37.5	46.9	40.6	43.8
製造業		18.5	35.6	40.8	39.1	41.8
非製造業		17.7	37.1	38.3	27.6	41.1
雇用関連		5.0	24.0	41.7	37.0	44.0

表1-2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成21年 3月	0.4%	1.8%	15.1%	37.0%	45.8%
平成21年 6月	1.7%	8.7%	36.3%	33.6%	19.7%
平成21年 9月	0.7%	8.2%	47.8%	28.2%	15.1%
平成21年 12月	1.0%	6.2%	38.1%	32.9%	21.8%
平成22年 3月	1.8%	9.6%	52.1%	27.0%	9.6%

図1-1 景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断DIは44.0となった。12月調査分より9.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

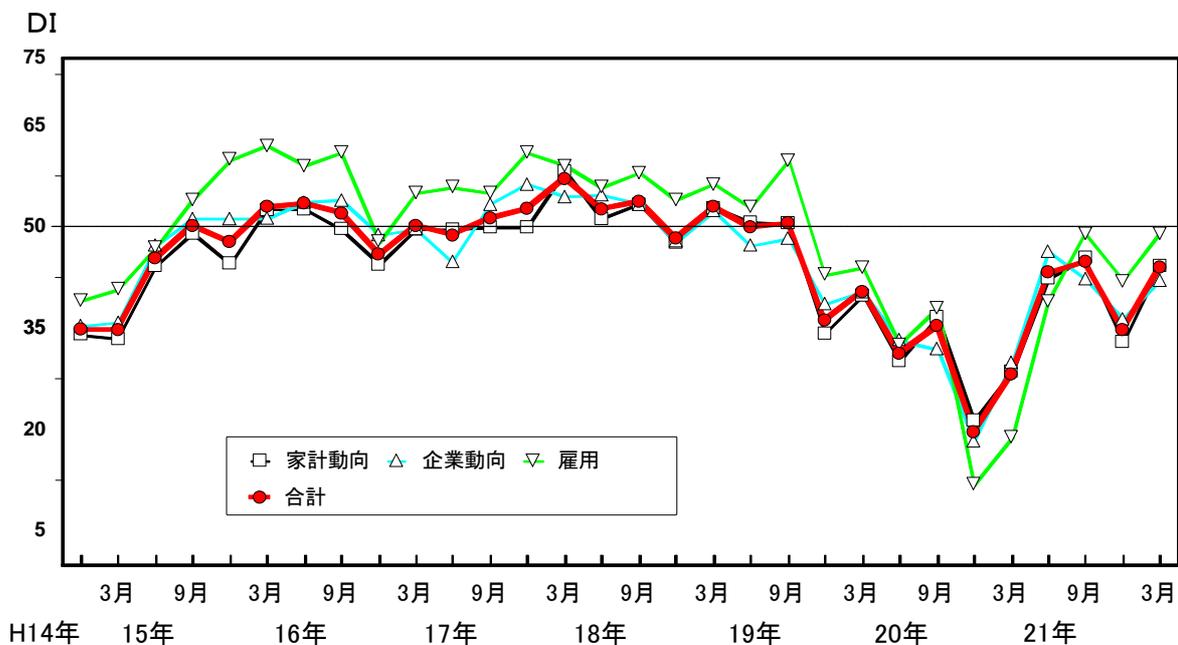
表1 - 3 景気の先行き判断DI

分野	調査月				
	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月
合計	28.2	43.3	44.8	34.8	44.0
家計動向関連	28.6	42.4	45.5	33.0	44.2
小売関連	28.0	44.4	43.2	34.5	43.3
飲食関連	36.1	43.4	51.3	27.5	47.5
サービス関連	26.9	40.3	45.6	30.8	43.4
住宅関連	33.3	41.7	50.0	52.8	50.0
企業動向関連	30.0	46.4	42.3	36.4	42.1
農林水産業	53.1	59.4	53.1	40.6	43.8
製造業	32.1	43.9	39.7	37.5	40.2
非製造業	21.0	46.8	43.3	33.6	44.4
雇用関連	19.0	39.0	49.0	42.0	49.0

表1 - 4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	1.1%	6.3%	29.2%	31.0%	32.4%
平成21年 6月	1.4%	15.6%	49.1%	22.5%	11.4%
平成21年 9月	0.7%	14.4%	57.4%	18.6%	8.9%
平成21年 12月	1.0%	6.2%	42.9%	30.4%	19.4%
平成22年 3月	0.4%	12.1%	58.2%	22.0%	7.4%

図1 - 2 景気の先行き判断DIの推移



2 地域別の動向

(1) 景気の現状判断DI

県北地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは40.2となった。12月調査分より1.2ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

表2-1 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		16.2	32.6	35.4	39.0	40.2
家計動向関連		17.1	31.9	31.8	37.5	39.4
企業動向関連		14.7	36.1	41.7	44.4	40.3
雇用関連		15.0	25.0	40.0	30.0	45.0

表2-2 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	0.0%	0.0%	14.0%	36.8%	49.1%
平成21年 6月	1.7%	8.5%	32.2%	33.9%	23.7%
平成21年 9月	0.0%	10.0%	40.0%	31.7%	18.3%
平成21年 12月	3.4%	10.2%	35.6%	40.7%	10.2%
平成22年 3月	3.6%	3.6%	53.6%	28.6%	10.7%

県央地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは42.4となった。12月調査分より8.5ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表2-3 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		20.1	30.3	37.3	33.9	42.4
家計動向関連		24.3	36.1	37.5	35.5	44.1
企業動向関連		14.1	25.0	35.9	25.0	40.6
雇用関連		10.0	5.0	40.0	50.0	35.0

表2-4 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	0.0%	1.8%	17.9%	39.3%	41.1%
平成21年 6月	0.0%	5.3%	35.1%	35.1%	24.6%
平成21年 9月	0.0%	6.8%	47.5%	33.9%	11.9%
平成21年 12月	0.0%	6.8%	45.8%	23.7%	23.7%
平成22年 3月	1.7%	10.2%	50.8%	30.5%	6.8%

鹿行地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは38.4となった。12月調査分より10.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2-5 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		14.0	33.2	36.8	28.1	38.4
家計動向関連		17.4	31.8	36.5	24.3	38.5
企業動向関連		10.9	37.5	36.7	38.3	35.9
雇用関連		0.0	30.0	40.0	25.0	45.0

表2-6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	0.0%	1.8%	8.8%	33.3%	56.1%
平成21年 6月	0.0%	8.6%	34.5%	37.9%	19.0%
平成21年 9月	0.0%	7.0%	50.9%	24.6%	17.5%
平成21年 12月	0.0%	7.0%	28.1%	35.1%	29.8%
平成22年 3月	0.0%	12.1%	44.8%	27.6%	15.5%

県南地域

3か月前と比較した景気の現状判断DIは44.4となった。12月調査分より9.8ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2-7 景気の現状判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		23.2	42.1	40.2	34.6	44.4
家計動向関連		25.0	42.4	37.1	33.6	39.8
企業動向関連		26.4	42.2	45.3	35.3	50.0
雇用関連		0.0	40.0	45.0	40.0	55.0

表2-8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	1.8%	0.0%	23.6%	38.2%	36.4%
平成21年 6月	1.8%	12.3%	47.4%	29.8%	8.8%
平成21年 9月	1.8%	5.4%	57.1%	23.2%	12.5%
平成21年 12月	1.8%	5.3%	36.8%	42.1%	14.0%
平成22年 3月	1.9%	7.4%	63.0%	22.2%	5.6%

(2)景気の先行き判断DI

県北地域

3か月先の景気の先行き判断DIは40.2となった。12月調査分より4.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2-11 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		24.6	41.5	44.6	35.6	40.2
	家計動向関連	26.4	38.2	43.2	35.4	39.4
	企業動向関連	20.6	52.8	45.8	37.5	40.3
	雇用関連	25.0	25.0	50.0	30.0	45.0

表2-12 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	3.5%	3.5%	24.6%	24.6%	43.9%
平成21年 6月	1.7%	15.3%	47.5%	18.6%	16.9%
平成21年 9月	1.7%	10.0%	61.7%	18.3%	8.3%
平成21年 12月	1.7%	6.8%	39.0%	37.3%	15.3%
平成22年 3月	0.0%	8.9%	53.6%	26.8%	10.7%

県央地域

3か月先の景気の先行き判断DIは47.0となった。12月調査分より9.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を11期連続で下回った。

表2-13 景気の先行き判断DI

分野	調査月	平成21年	平成21年	平成21年	平成21年	平成22年
		3月	6月	9月	12月	3月
合計		25.9	41.2	41.9	37.7	47.0
	家計動向関連	32.1	46.5	42.8	38.2	48.7
	企業動向関連	18.8	35.9	39.1	37.5	48.4
	雇用関連	5.0	20.0	45.0	35.0	30.0

表2-14 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	0.0%	5.4%	23.2%	41.1%	30.4%
平成21年 6月	0.0%	10.5%	56.1%	21.1%	12.3%
平成21年 9月	0.0%	13.6%	50.8%	25.4%	10.2%
平成21年 12月	1.7%	1.7%	55.9%	27.1%	13.6%
平成22年 3月	0.0%	16.9%	59.3%	18.6%	5.1%

鹿行地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは43.1となった。12月調査分より6.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2 - 15 景気の先行き判断D I

分野	調査月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月
合計		28.1	42.7	44.7	36.8	43.1
	家計動向関連	26.4	38.5	43.9	30.4	41.9
	企業動向関連	34.4	50.0	45.0	48.3	43.8
	雇用関連	20.0	50.0	50.0	50.0	50.0

表2 - 16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	0.0%	5.3%	35.1%	26.3%	33.3%
平成21年 6月	1.7%	15.5%	46.6%	24.1%	12.1%
平成21年 9月	0.0%	17.5%	54.4%	17.5%	10.5%
平成21年 12月	0.0%	10.5%	45.6%	24.6%	19.3%
平成22年 3月	0.0%	12.1%	58.6%	19.0%	10.3%

県南地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは45.4となった。12月調査分より11.6ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を10期連続で下回った。

表2 - 17 景気の先行き判断D I

分野	調査月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月
合計		30.5	44.7	45.1	33.8	45.4
	家計動向関連	29.7	41.7	45.7	33.6	43.0
	企業動向関連	34.7	48.4	42.2	30.9	44.1
	雇用関連	20.0	55.0	50.0	45.0	65.0

表2 - 18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	1.8%	7.3%	29.1%	34.5%	27.3%
平成21年 6月	1.8%	15.8%	45.6%	33.3%	3.5%
平成21年 9月	0.0%	14.3%	58.9%	19.6%	7.1%
平成21年 12月	1.8%	5.3%	38.6%	35.1%	19.3%
平成22年 3月	1.9%	11.1%	61.1%	18.5%	7.4%

県西地域

3か月先の景気の先行き判断D Iは44.1となった。12月調査分より14.3ポイント上昇したものの、横ばいを表す50を12期連続で下回った。

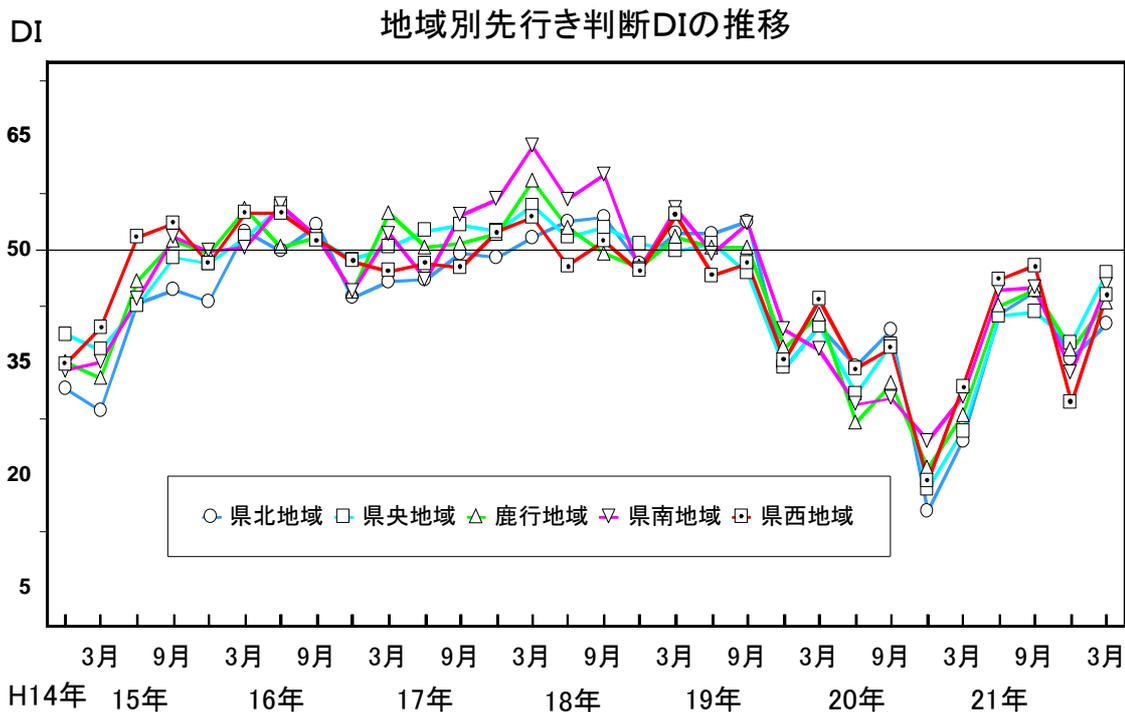
表2 - 19 景気の先行き判断D I

分野	調査月	平成21年 3月	平成21年 6月	平成21年 9月	平成21年 12月	平成22年 3月
合計		31.8	46.1	47.9	29.8	44.1
	家計動向関連	28.5	47.1	52.1	27.1	47.7
	企業動向関連	40.3	44.4	39.5	29.4	34.7
	雇用関連	25.0	45.0	50.0	50.0	55.0

表2 - 20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成21年 3月	0.0%	10.2%	33.9%	28.8%	27.1%
平成21年 6月	1.7%	20.7%	50.0%	15.5%	12.1%
平成21年 9月	1.7%	16.9%	61.0%	11.9%	8.5%
平成21年12月	0.0%	7.0%	35.1%	28.1%	29.8%
平成22年 3月	0.0%	10.9%	58.2%	27.3%	3.6%

図2 - 2 地域別先行き判断DIの推移



3 回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全 県	300 人	282 人	94.0%
県北地域	60 人	56 人	93.3%
県央地域	60 人	59 人	98.3%
鹿行地域	60 人	58 人	96.7%
県南地域	60 人	54 人	90.0%
県西地域	60 人	55 人	91.7%

Ⅲ 景気の判断コメント — 1 景気の現状判断コメント

(1) 県北地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	スナック	新車に買い替える方が増えてきたから。
	企業	製造業（精密機器）	値段よりも納期優先の顧客がでてきた。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	質の伴った商品であれば、価格が多少高くても売れるようになってきている。個店によってであるが、お客様の買い上げ単価が上がってきているお店が出てきている。
		和食食堂	特に週末の来客が増えている様です。不景気のせいかわ遠出をする人がいないのか、近くの公園に人が良く集まるよう売り上げが少し良くなっていると思う。
変わらない	家計	商店街代表者	悪い状態から脱皮できない意味で変わらない。
		コンビニエンスストア	お客様の財布の紐は固く、プラス一品のお勧めをするが購買意欲にはつながらず成果は出ていない。
		衣料品販売店	何ヶ月か底である。
		金物・荒物・建築資材	仕事の量が変化なし。
		小売業（靴製品）	売上動向が変化なし。
		レストラン	お客様の数が変わっていないので。
		観光型ホテル	宿泊、日帰り予約とも前年同月と比較してほぼ同じである。
		旅行代理店	商品価格が安い商品しか売れない。
		タクシー運転手	一日当たりの売り上げ平均が3ヶ月前と変わらないため。
		ゴルフ場	3ヶ月前と比較して、遠方からの来場者数の変化が見られない。県内顧客は安価な設定の施設に集中している。
		レジャー施設	集客や売上は前年同期と比較して伸びてはいるが、単価や利益率は3ヶ月前と比較して変わらない。
		ゴルフ場	来場者数は、季節・天候等により大きく左右される為、3ヶ月前との比較で景気判断は出来ないが、日々の予約進捗は、3ヶ月前と変わらず鈍い状況にある。
		住宅販売会社	前回同様となってしまうが、新規客の集客が増えない。
		企業	水産業関係者
製造業（製缶）	3ヶ月前と比較すると変わらないが、昨年の同時期と比較すると売上高で20%弱減少している。		
製造業（一般機械器具）	受注・生産に関するデータと比較し、特段の目立つ要因がないため。		
製造業（電気機械器具）	生産量等に特段の変化がない。		
製造業（電気機械器具）	受注の多少はあるが、特に良くなった悪くなったということはない。		
製造業（電気機械器具）	一部輸出案件が多少アップしているものの、国内案件が伸びずトータルとして変わっていない。		
製造業（輸送用機械器具）	国内のグリーン税制選付、中国販売好調等により部分的に残業も入るなど作業量は回復基調であるが、依然としたリストラ（賃金カット）が継続していること及び先行きの見通しが不透明で継続好転していく予測が難しいこと等から景気が良くなってきている実感が掴み難い。		
情報通信業（情報サービス業）	景気回復の兆しは見えず、商談は相変わらず少ない。		
不動産業	依然、顧客の購買意欲の向上が現場から見えてこない。お客様も、自身の生活維持のため様子見をしている様。		
雇用	求人広告	求人広告の掲載料も枠を小さくし、経費削減を考える企業様が多くなったと感じる。	
	公共職業安定所	依然として、新規求職者数は対前年を下回っており、また景気の回復には至っていない状況が続いている。ただ、新規求職者数が12月、1月と2ヶ月連続で対前年を下回ったことやそのこともあって、有効求人倍率が良くなっていること。また、雇用保険受給者（実人員）が減少傾向にあることが明るい材料となっている。	
	学校就業関係者	学院生の追加の就職もなく、状況は変わらない状態である。	
	求人開拓員	製造業では、作業員の増員をする事業所はあまり無く、景気上昇の話題は少ない。	
やや悪く	家計	商店街代表者	消費マインドの低下が、お客様が買い物を控えている原因である。
		スーパー	大量のバックから少量のバックへ各社変更している。年輩の方の要望として少量バックでの提供に対応しているだけではなく、必要量が変化している。買い物の時間が長くなっている。その分買い物が増加するのではなく迷っている？
		衣料品販売店	売上、客数、客単価共に昨年を下回っている。
		自動車販売店	通常、この時期は、新卒者向けの売上が伸びるところですが、少子化、高卒者の就職率の低下により、購入層が狭くなっている。
		居酒屋	来店客が少ない。
		観光型ホテル	客単価が下がっている。
		観光型ホテル	観光客と宿泊客の減少のため。
		ゴルフ場	来場者計画値達成率は右下がり傾向にある。（12月99%、1月109%、2月70%）売上単価2月95%で悪くなっている。
林業関係者	住宅着工件数の減少により、特に木材利用の率がやや悪くなっている。		

な っ て い る	企業	製造業（電気機械器具）	受注が横ばいで作業量に変化が見られない。 発送した製品に不具合があり、補修費等の損失発生。
		製造業（電気機械器具）	以前と比較すると、予算金額、受注量ともに減少している傾向にある。
		製造業（電気機械器具）	一昨年落ちた生産状況から多少の変動の幅で上下している受注が続く中で、3ヶ月前と比較してやや悪くなっている状態が継続している。特に情報通信機器関連が思わしくない状況であった。取引先・購入先からも同様なお話をいただいている。
		製造業（電気機械器具）	原子力業界に属しているが、年度末にもかかわらず工事や作業が少ない。
		運輸業	毎年年末は貨物量がピークになるので、3ヶ月前との比較だと全く貨物量は少ないのですが、前年同月比で見ると1.8倍くらいの貨物量があります。しかし、前々年度で見ると約7割位の貨物量です。また、貨物の内容が全く変わっており、一番気になるところは、一昨年あたりはこの辺で生産された物を横浜港等に輸送する仕事をしていましたが、現在では輸出用の貨物は減少し、中国等より生産された輸入貨物の輸送が素人目から分かるほど増えたことにあると思います。今は半製品等を納めているのですが、製品の質も段々良くなってきており、近い将来は中国で一貫生産が行われるであろうと危惧しています。
		金融業	中小企業者の業績が悪化傾向にあるが、融資申し込みについては、逆に減少傾向にあり、自己資金の取り崩しにより対応している企業が増えてきている。先行き不透明感の中、借入残高を増加させたくないという考えの経営者が増えてきていると思われる。
	雇用	運輸附帯サービス業	メーカー全体の受注量（建設、ビル設備関係）が減少している（概ね10月頃までが底打ち）ため。また、我々下請け企業として作業量増大が期待できるのは2010年度末と判断している。
悪 く な っ て い る	家計	ガソリンスタンド	売り上げ減のマージン減。全国的にこの傾向である。茨城が全国で1,2番に悪い。
		小売業（酒類）	前年度落ち込みした以上に今年は悪い。焼酎・日本酒の売れ行きが特に良くない。
		小売業（水産物）	売り上げが伸びない。商品選びに時間をかけている。客単価が低くなっている。
		タクシー運転手	3ヶ月前より社員数が減っているにもかかわらず、売り上げが落ちている。
		クリーニング店	客数・客単価ともに減少しているが、客数が大きく減少している。
	企業	建設業	お客様の営業拠点が統合や縮小となってきたので県北地域の冷え込みをより強く感じる。

(2) 県央地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(精密機械器具)	受注状況が回復傾向にあり、3ヶ月前と比較すると、6、7%ほどアップしている。
やや良くなっている	家計	自動車販売店	政府の補正予算も決まり、コンパクトカーを中心に代替需要がまた増えてきました。
		ファミリーレストラン	外部環境の変化により、日々状態が活発になっている。
		タクシー運転手	現在、梅まつりが最盛期の為観光客が増えています。毎年の事ですが、今年は昨年よりも多い様に感じています。
		建築設計事務所	仕事の引き合いがゆっくりと良くなっている。
	企業	不動産業	ロードサイドの空き店舗等の問い合わせが増え、成約につながってきた。
		サービス業(コンサルタント業)	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると、3ヶ月前と同じかやや良くなった店舗が多い。特に、寒い日や雪の日が多かった影響からコートなどの冬物衣料の販売が好調だった。
変わらない	家計	商店街代表者	法人需要は低迷したままで回復していない。また個人需要も同じ状況。
		百貨店、総合スーパー	必需品であっても入念に下見をし、比較検討する傾向や単品の購入にとどまる傾向に変化は見られない。
		百貨店、総合スーパー	微妙に上向きかもしれませんが、ほぼ変化無しと思われ。衝動買いはほとんど無く、よく考えてから後の購入が多い。高額品についても同様。しかし、来店されるお客様は増加傾向にあり、今後に期待している。
		スーパー	売り上げ数値に大きな変化が無い。食料品のデフレ状態は続いている。
		スーパー	売上高の傾向値(前年対比)に大きな変化はない。
		コンビニエンスストア	工場や建築関係のお客様の来店人数が昨年までと比べて減少したままの状況。目的購入のお客様が増えており、衝動的に商品を買うお客様は減少している。
		コンビニエンスストア	お店の客数が変わらない。むしろ若干増えている中であって客単価の減少は続いている。買い上げ点数は悪くないが、買い上げ単価に問題があり、お客様の購買意欲の低さと節約志向が続いていることがうかがえます。
		農産物直売所	野菜は計画比、前年比とも100%前後で推移しており横ばい。飲食部門は3ヶ月前と同じ前年比93%前後の推移。嗜好性の高い果物、牛肉の高級ブランドは3ヶ月前と同じく動きが悪い。
		専門スーパー	資材関係において動向が悪い。お客様の話の中においても「工事件数が少ない」との話が多い。また、天候要因も悪く例年になく降雪が多く気温も低いので、外での活動があまりない。(一般のお客様において)
		レストラン	受注ベースで考えますと、以前と変わらない。
	都市型ホテル	忘・新年会は昨年並みに予約が入っていたが、歓送迎会時期となり、例年より同じか若干少ない状況である。	
	旅行代理店	海外個人旅行は、前年を上回っているものの国内旅行(個人・法人)は低迷している。	
	タクシー運転手	売り上げは前年の同時期とほとんど変わらない。	
	タクシー運転手	水戸駅お客様の乗り込み、営業回数が以前と変わらない。	
	ドライブイン	水戸の梅まつりの開催により、他県からのお客様も多く来店され、客数及び客単価はやや良くなっているが、全体としての売り上げはあまり変わらない。	
	観光名所	ここ2~3ヶ月の動きは昨年同時期よりも若干良くなってきていたが、今月に限っては動きがやや鈍っている。季節的な要因となるかもしれないが、低温や雪などの影響は十分考えられる。それを除くとあまり変わらないか?	
	パチンコ店	年に一番来店客数が上昇する正月を過ぎ、また逆に2月は来店客数が減少する時期であるが、今は各々が平均しており、特に著しい来店客数の上昇・下降はさほど無く、変わらないように思う。	
	レジャー施設	利用契約の解除等も増加していないため。	
	レジャー施設	入館者数が伸びない状況は引き続き見受けられる。各種割引などを行い入館者確保に努めているが、現状維持が精一杯である。	
	理・美容店	例年であれば、2月は暇な月であるが、今年は1月が思ったほど良くなかったのが2月はその分忙しかった。	
住宅販売会社	いまだ受注に関しては厳しい状況が続いている。		
企業	農業関係者	今は農閑期で特に目立った動きは見当たらない。	
	製造業(食料品)	観梅時期を迎えているが、客単価が低いので昨年と変わらないように思う。	
	製造業(一般機械器具)	悪い方で変わらない。自動車関連は大変忙しくなって来ました。設備も少し出て来ました。建設機械関連もやや良くなって来ました。我々は設備関連のため、全体が良くなるうちはまだまだ良くならない。	
	建設業	景気の低迷から脱していない。	
	運輸業(道路貨物運送業)	年度末の忙しさはあるが、特に変化は見られない。ただし、前年同月比を見ると貨物の動きは良くなっている。	

	情報通信業（情報サービス業）	今年に入り、一部顧客から除々にはあるが、業績回復基調にあるとの話も出てはいるが、市場は相変わらず動きが鈍く明るい材料は余りない。設備投資面では、慎重から脱しておらず、もう少し時間がかかるとの話が多い。売上高は3ヶ月前と比較して余り変化なく景気感は横ばい。
	サービス業（広告業）	広告宣伝予算の削減は、底をうった。これ以上は下がりようがない。
雇用	人材派遣業	ここ3ヶ月の売り上げは現状維持であった。
	就職相談員	求職者（新規来所者）を3ヶ月前と比較してみると98%と横ばい状態が続いております。企業の採用予定人数を3ヶ月前と比較しますと90%と企業の求人意欲が依然として低いように思われます。
やや悪くなっている	家計	
	商店街代表者	今年の冬季は暖冬と言われているが、寒い日が多く雪や雨の日も多いため人通りも少なく来店客は減少しました。天候が不順であると、お客様は歩いて買い回りをしなくなり商店街は打撃を受けてしまう。目的買いになりショップと最寄りの駐車場の移動だけで済ませている。平成18年の頃から寒い冬や暑い夏は天候に左右されない郊外大型ショッピング施設で時間を関係なく滞留している傾向にあります。
	スーパー	一人当たり購入点数の大きな変化はないが、一点当たりの単価が低下している。より安い商品の動きは良い。
	スーパー	天候がはっきりせず、ぐずついた日が続いているので、外出を控える傾向があるのか、来店人数があまり増えてないと思う。
	家電販売店	例年のことですが、年が変わって1～3月頃は売り上げが極端に落ちる。今年も1、2月の売り上げは落ちている。原因としては、価格の下落と大型店の影響があると思われる。
	専門スーパー	売り上げが伸びない。
	レストラン	観梅の時期や歓送迎会の時期であるが、昨年同月と比べ動きがにぶい状況。ランチに関してはご婦人を中心に昨年並みの動きを見せているものの、ディナーは家族連れが大きく落ち込み、企業の予約状況も減っている。
	割烹料理店	昼・夜とお客さんは伸びて来ません。おいしい物を食べるというより安くてすぐ食べられる物、味は二の次なのです。そのように感じます。
	都市型ホテル	企業の利用が減少している。
	観光型ホテル	間近の予約、特に個人客の動きが悪くなっているように思う。
	タクシー運転手	昼・夜、タクシーの利用を控えていると思う。
	ドライブイン	日帰り旅行はする。しかし、おみやげは購入せず自分用に買い物物を少しする。
	ゴルフ場	降雪の影響などによりクローズの日もあり、来場客数が激減した。
理・美容店	一段と悪くなっています。お客様の来店周期が長くなっています。	
企業	製造業（印刷・同関連業）	売り上げが少し下がっているため。
	金融業	業況が好調なのは、一部の顧客、業種であり、全体的な景気感は改善されておらず、浮上の兆しもあまり見られないことから、やや悪くなっていると考えます。
雇用	求人広告	大型店舗の影響なのか、個人商店からの募集がメッキリ無くなった。やっぱり地元の個人店にはがんばって欲しい。
	公共職業安定所	3ヶ月前との比較で有効求人数は7.2%減少、有効求人倍率は0.5倍と同期比で0.01ポイント増と微増にとどまっている。雇用保険の受給者実人員は、3ヶ月前との比較で11.7%減少しており数字上は改善されているが、有効求職者は対前年比25.8%増と「求職者は少ない求人での就職活動」を迫られており雇用情勢は依然と厳しい状況が続いている。
	学校就業関係者	雇用問題を取り上げた新聞・テレビの記事が年末・年始にかけて多くなったせいか、あるいはハローワークを見学に行ったりしたためか、景気の悪さが実感された。
悪くなっている	企業	
	製造業（食料品）	売上減少。
	製造業（印刷・同関連業）	受注が減少している為。
	製造業（窯業・土石製品）	受注量が著しく低下している。また、受注金額も下がっている。
製造業（金属製品）	建設関連の仕事量が、民間工事で急激に少なくなっている。	

(3) 鹿行地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	洋食食堂	1月2月は低調だったが、3月になり動きが見られる。	
		観光型ホテル	宿泊予約数が少し多い。	
		レジャー施設	観光パンフレットや新聞等に掲載したことにより、市外及び、他県からの利用者が増加している。(車のナンバーで判断)	
		理・美容店	売上げ的には、少しは良くなっているが、客の動員数はあまり変わらない。3月は、卒業や入学のシーズンなので多少は良くなると思う。	
		理・美容店	入客数、客単価両方において、前年同月比でプラスになり、必要以外のメニューが増えた事が売上げUPの大きな要素だと思う。客の気持ちにもある程度ゆとりが出てきたのかもしれない。	
	企業	製造業（鉄鋼業）	製造ラインの稼働率も、フル生産に近い状況まで回復してきた。	
		運輸業（道路貨物運送業）	具体的な貨物倉入れの話が有ったり、実際倉入れが始まっている。業界によるが、入庫待ち即出庫現象で在庫を最低限で動かしている荷主と、2月前半までで大量出庫した後、ある程度在庫を増やしている荷主とはっきり分かれて来た。	
	変わらない	家計	商店街代表者	商店街のアンケート調査では売上げが増加と答えたものはなかった。経営者の高齢化、後継者難など経営意欲が上がらない。
			商店街代表者	特に変化は出ていない。
			スーパー	買上点数は、相変わらず、減少傾向。1品単価も低下している。必要な量、必要な数だけ買う傾向。買い置きをしない。
スーパー			どうしても安いものや、値引き商品に集中している。	
コンビニエンスストア			雇用情勢が変わらない以上、消費の活性化は考えられない。	
家電販売店			エコポイントの延長決定により、想定していた売上げ増は見込まれなくなったが、安定した売上げになっている。	
そば処			観光地である為、初めての客でも安物志向である。	
タクシー運転手			生産性のない仕事、サービス業、人間を運ぶタクシーは独特である。初乗り運賃の値上げが、収入に反映されてる実感が無い事もさることながら、上昇を実感できていたら営業回数が増えていくものである。値上げ割増し以上に営業回数が減っている。特に夜間はストレスためるので客を運びたくならない。	
タクシー運転手			3ヶ月前と変わらない。	
ドライブイン			客単価が低い状況が続いているため。	
パチンコ店			お客様の来店時間・滞留時間等それほど変化は見られない。	
室内装飾業			仕事がしたくても物件が少ないし又、周りを見ても将来新築を建てられそうな若者もいない。	
住宅販売会社			様子見のお客様が依然多い。	
住宅販売会社		来場者に関しては特に変化していない。具体的に景気が改善されているようには感じない。		
企業	水産業関係者	主力のサバが少なく、カタクチイワシ中心の水揚げとなっており、数量も低位で推移している。また、製品の販売状況も円高により輸出が伸び悩み大きな変化はない。		
	製造業（飼料）	出荷数量に大きな変化は見られない。		
	製造業（印刷・同関連業）	良くなったという実感はないため。		
	製造業（化学工業）	経費等の削減も相変わらず進んでおり、変わっていないと思う。		
	製造業（化学工業）	アジア向けを中心に輸出の伸長で出荷量は維持しているが、国内は脆弱で、原料価格上昇分の価格転嫁もままならない状況である。		
雇用	民間職業紹介業	依然、求職者（特に若年層）の登録数があまり増加しない。また、求人企業も求職者に対する条件的なものが多く、マッチングに結びつかない。		
	学校就職関係者	新規の学生の応募者が12月の段階で昨年度より大幅増であった。その後の追加応募も昨年度を上回っている。3か月前と比較して、同じような状態で推移しているものと思われる。		
	求人開拓員	3月現在でも前回同様に好転の兆しは窺えない。鹿島コンビナートにおける工業団地内製造業における欠員補充的的正社員募集求人については、希にあるものの応募者が多数殺到し就職内定まではかなり厳しい状況となっている。介護・福祉・医療関係の求人は獲得できるが、有資格者対象の為、求職者が集まらず就職マッチングは前回同様困難な状況となっている。		
	商店街代表者	長期空洞化各産業の梃入れの遅れから来る右肩下がり、先細り経済の変な舵取り、不健全さが衣料品から食品の購買力に迄及び、給与所得の頭打ち等に至り、大きなマイナス要因の複雑さを露呈し消費意欲を著しく減退させている。		
	コンビニエンスストア	商品動向を見ても、買上点数が上がらない。		
	自動車販売店	前年と比べても、量が減っている気がする。来店数、在庫数を見ても前年より忙しく感じない。		

やや悪くなっている	家計	小売業（菓子販売店）	今月の前年比と比べて伸び率が少し鈍くなっているため。
		小売業（酒類）	ビールの売上げが低迷。新ジャンル（第三のビール）が伸びている。
		小売業（書店）	3か月連続で前年割れ、客数も追い付かず。
		割烹料理店	出入りの業者に、他店の事を聞いても、どこもひまな話をしている。客の話でも、集まりがあれば出かけるが、個人的には出歩くのが減ったという話ばかりだ。
		日本料理店	今年に入っても閉店する店が目立つ。（宝石店、メガネ店、CDショップなど、ジャンルを問わず）
		タクシー運転手	今年1,2月になって売上げが悪くなっている。3月に入ってもあまり変わっていない。
		クリーニング店	ここ2～3年煙草農家の収入が減っているため、やめる人が多い。苺農家やメロン農家も経費がかかりすぎて収入がその割りではないようだ。その為にさつま芋や人参などにきりかえたので、耕作面積が増えて値段が安いようだ。
	企業	農業関係者	寒さが和らいだことに伴い、葉物全体の生産量（出荷量）が急増しており、価格が急落した。葉物主体の農家は大きな打撃を受けている。
		建設業	1月2月と働く日数も少ないし、まわりを見ても余分なことには手を出さず、じっと我慢している感じだ。
		金融業	個人に於いては、住宅資金の返済額軽減の相談が多数寄せられ、企業経営については、資金繰りに支障を来している状況も少なからず見受けられることから、景気は悪化していると思われる。
不動産業		デフレ傾向になっており、不動産の下落、アパート家賃の下落になっている。	
雇用	人材派遣業	鹿島コンビナートの特色として、主として鉄鋼・石油化学に業種分類される。この中で、鉄鋼業は厳しさに変わりは無いものの底は打った模様。しかしながら石油・化学部門は大きくタイムラグがあり、現在は大変厳しい状況に置かれている模様。従って、人材派遣の要請も激減の状況にある。	
悪くなっている	家計	農産物直売所	高価な物は買わなくなっている。
		小売業（薬品店）	客数、客単価ともに減少。不景気を実感している。
		小売業（金物店）	市全体の工事が減っている。また、企業の注文が必要なものしか買わなくなってきた。
		衣料品販売店	客数や客単価が下がっているため。
		観光型ホテル	当館の予約状況・消費単価・毎日接している客や取引業者の方々の声から判断。
		タクシー運転手	売上げが落ちている。土曜・日曜は特に悪い。
	企業	製造業（食料品）	3か月前は年末、年始商戦が動いたが、現在荷動きが停まっている。
		製造業（食料品）	売上が昨年の10月から、前年比10%～15%の下回る様になり客数に関しても同じ様に減っている。いろいろと対策を取っても、それに追いつかず苦戦を強いられている。冬季オリンピックなどがあったが食品製造には影響が無かった様に思える。まず、世の中全体が明るく、先を見透し頑張れる様な社会に成らないと元気がでない。この不況下で政治家が金の問題で混乱している国会では明るい社会は出来ないだろう。
		サービス業	営業実績の低迷が著しい。自動車、電気、電子分野の顧客からの受注減少が続く。

(4) 県南地域 【現状】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(非鉄金属)	対前年比200%強の出荷実績で昨年実績からみて様変わり状況にある。昨年は、売上げが半減しワークシェアリングで乗り切ったと思っている。人手不足の状況でもある。
やや良くなっている	家計	旅行代理店	今月の前年比と3か月前の前年比を比較すると今月の方がややいいが、全体的には厳しい状況はあまりかわらない。客によって差が出ている。
		住宅販売会社	イベントへの集客も増え、除々にだが良くなってきている。
	企業	建設業	特定の取引先がバイオプラント(食総研)を受注。当社で企画、設計したので入札したもののほとんど当社が仕切ってやっているの、1月、2月、3月末迄は非常に忙しい。又この設備に関連した追加が出ているので、昨年の売上げの約半分は、この3ヶ月で達成すると思う。なお、元請は食品、医薬品の会社なので、工場内に増築工事、改修工事など3~4ヶ月迄見通しあり。
	雇用	求人開拓員	求人数がここに来て少しずつ増加傾向で、一部に回復基調が感じられる。
変わらない	家計	商店街代表者	厳しい景気の中、消費者の購買意欲は変わらず、とくに今年は寒い日が続く高齢者の方々は外出控える傾向にあり、地域に密着してくださった方の消費が減少し売上げ増にはなっていない。
		スーパー	単価は下がっているが、点数は増加傾向にある。
		スーパー	一品単価の下落が止まらない。前年対比も割りそうだ。一部野菜類は高値が続いているので持ち直してはきている。
		スーパー	景気は悪い状態で3か月前と変わらない。3月よりチラシの企画を更に低価格政策に変更したが、前年数値を確保できない。
		コンビニエンスストア	単価、買上点数は変わらず、お客様の買われ方に大きな変化は見られない。
		農産物直売所	昨年10月以後大型ショッピングセンターの開店に伴う売上げの落ち込みは続いている。野菜の価格は高値で落ち着いているものの客単価の伸びが悪い。
		農産物直売所	以前回答したとおり、客数も売上げも変化はない。
		専門スーパー	特別な変化が見られない。
		洋食食堂	客足が伸びないのとはかくドリンク類、特にアルコールはほとんど動きがない状況が続いている。
		都市型ホテル	宿泊、宴会、婚礼も3か月前とでは、受注や単価においても変わっていない。打合せも、以前同様で相変わらずの低単価を希望していた。
		都市型ホテル	宴会及びレストラン利用客の一人単価がほとんど変わっていない。
		旅行代理店	少しでも安くという気持ちが現れすぎて、財布のひものゆるみを感じられない。
		タクシー運転手	やはり年末も静かであったし、今後、景気が良くなるというより、今の現状が今後のスタンダードになると思ったほうが良いかもしれない。
		タクシー運転手	業種別の格差はより拡大が生じている感じがする。総じて沈滞状況に変わりはない。時として極論が出ることも少なくない。
		タクシー運転手	3か月前の不景気な状態が今尚続いている。
		ゲームセンター	前年比で若干回復しつつあるものの依然として前年割れが続いている状況には変わらず不安定な状況が続いている。
建築設計事務所	会合等でも、いい話は聞かれない。		
企業	農業関係者	あまり変わらないように感じているのは、野菜関係の価格が少し戻ってきたものの出荷する量が不作であったり、米価格においても、20年産米の在庫が多いことから21年産米の流通量少なく先行き不安が多く値段を下げての処分傾向にある。また、税金の未納者が多く様で、行政関係からの貯金取引状況の調査も多い。車の購入についても新車購入より中古車の購入をメインに検討している。軽自動車か燃費の良い形より経費の掛からない車を選ぶ話が多い。	
	製造業(一般機械器具)	大きな変化を感じられない。	
	製造業(食料品)	「不景気で困りますね」は3か月前と全く同じ挨拶だ。	
	製造業(飲料)	取引先の営業担当の方から景気上昇の話がでない。	
	製造業(窯業・土石製品)	景気に対する行政のメッセージが明確に打ち出されていないので、現在と変わらないと思う。	
	製造業(窯業・土石製品)	年度末の駆け込み工事等の受注はあるが、年末とさほど変わらない。	
	製造業(一般機械器具)	期間社員、契約社員に対する休業措置を引き続き実施しているため。	
	建設業(設備工事業)	今月は異動時期、年度末ではあるが、引き合いは多くなっているが売上げについては今月の前年比と3か月前の前年比を比べると今月の前年比の伸び率と同じくらいなので変わらないと思う。	
	建設業(設備工事業)	資材の動きが大きくは変わらない。	
	金融業	設備資金等の相談はほとんどなく、金融円滑化法による条件変更依頼が急増している状況から、景気回復している実感はない。	
	不動産業	3か月前と比べて特に悪くなった。良くなった要因は見当たらない。全般的に低調ムードにある。	

雇用	人材派遣業	3か月程前に比べると受注は減っている感がある。半導体系が落ち着いてきたせいか。
	求人広告	求人広告も増える様子も見受けられない。
	公共職業安定所	求人数について前年同期と比べると減少しているが、減少幅が少なくなって来た。求職者数については、新規来所者数は前年同期と比べると減少しているが、求人数が少ないため求人倍率は好転しない。
	学校就職関係者	求人数は昨年度よりは減少傾向にあるものの、3か月前の状況と比較すると変化はない。
やや悪くなっている	スーパー	12月は市のプレミアム商品券の発行により、一時景気が良くなっていたが、3月は前年の一品単価を比較すると下がっているのが、景気はやや悪くなっている。特売品、低単価の販売数が伸びている。
	スーパー	一品単価の落ち込みが売上げに影響している。客数、買上点数は伸張しているもの、客単価が減少しており、厳しい状況にある。
	ガソリンスタンド	車の新車販売は良くなっていると思う。エコカー減税が購買力を上げているが中古車販売会社はそのあおりを受けて倒産している会社もある。ガソリンスタンドも新日本石油とj o m o の合併でどうなるかが見えない状況だ。
	洋食食堂	個人の（女性）来店数が少ないのが一番の理由。特別の祝い、歓送別会、法事等は、例年通り。ディナーのカップル来店数は全然ない。
	寿司店	仕事仲間の会話でもいい話は出てこない。色々な行事も年々簡素化してきた様に感じますが！
	タクシー運転手	一般的に企業がタクシーを利用しないので、売上げがだんだん減ってきている。
	タクシー運転手	前年比と3ヶ月前（12月）の前年比を比べると、今月の前年比の伸び率が鈍い。
	ゴルフ場	ゴルフ場への来場者数には、大きな変動はないが、客単価が下がっている事。
	ゴルフ場	2月は天候が不順だった。雪による影響も延べ10日位でている。月末にいたっては、雨～晴の予報が雨～雪～晴になった。天候の影響を受ける仕事ゆえかなり厳しい。
企業	製造業（食料品）	前年同月や前月に比べると客足が少なくなっている。
	製造業（印刷業）	来客数の減少及び1回あたりの受注量が減少している為。
	運輸業（倉庫業）	既存荷主で生産調整に入り、生産を減らしている傾向にある。来年度は約40～50%減のところもあり、先行きは悪くなっています。食品関係は、工場閉鎖する反面、別工場において生産を増加するところもあり、好調になりつつある。しかし、新規荷主については、なかなか決まらない。
家計	コンビニエンスストア	消費の動向が新規商品でも販売が鈍ってきている。各メーカーの出す商品も少なくなっている。
	和食食堂	来客数、売上げの前年比割れにより。
	レジャー施設	天気が悪く客が来社しなくなっている。現在はオフシーズンの為、団体予約が無い。

(5) 県西地域 【現状】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	家電販売店	エコポイントによる映像（液晶テレビ・プラズマテレビ）が好調に売れている。逆にエコポイントのない商品分類については前年割れ。トータル的には映像分類の売上額が大きい為、売上げは好調に推移。
やや良くなっている	家計	ゴルフ場	予約状況にて。
		理・美容店	常に客に対して誠意を持って応じている。特に女性客に対しては細心の接客を心がけている。
	企業	製造業（化学工業）	半導体関連の受注が好調。Windows 7の発売の影響でパソコン需要が比較的堅調に伸びている模様。
		製造業（窯業・土石製品）	昨年末と正月にかけて仕事が急激に減少していたがこのところ仕事が動いてきている。
		製造業（窯業・土石製品）	ただ単に、3か月前と比較するならば、少しは売上げ仕事量が多いが、通常年よりは毎年例年比少なくなっている。特に、東北地方の業者からの発注量が少ない。
		製造業（電気機械器具）	作業量の増加に伴い、増員についての要望、問い合わせが多くなっている。
不動産業	売買の来店が増加、取引数も増（金額については横ばい）。		
変わらない	家計	商店街代表者	寒中なのに暖かだったり、また急に寒くなったりでお天気によって客足がちがうが平均してそんな変化は無い。
		スーパー	客の買い物動向はディスカウント品中心で特売品の買い回りが多い。以前の状態と変化はない。
		コンビニエンスストア	3月に入り、催行事事で人の動きは出てきているが、相変わらず客単価が伸び悩み売上げの底上げが図られていない。
		コンビニエンスストア	政治不安から消費意欲が低下しており、現在もその状況は継続している。客単価の低迷も続いており、消費者の景況感は厳しい状態が変わらない。
		自動車販売店	大きい金額の消費が伸びていない為、景気は変わらない状況と思う。
		農産物直売所	客の購買意欲が極端に低下したということはないので。
		和食食堂	売上げ、来客数、共に横ばい状態。
		都市型ホテル	客の利用度、利用金額など、3か月前と比べて変わっていないと思う。
		ビジネスホテル	人、物、金の動きで大きな変化は見られない。どちらかという、やや悪くなっているのかも知れないが「変わらない」を選んだ。
		タクシー運転手	依然として、節約志向が見受けられる。タクシーの仕事も、以前より少なくなっている。忙しいのは一時である。
		タクシー運転手	世間の状況があまり変わらない。
		タクシー運転手	月の売上の平均が3か月前とほぼ同じ。
		ドライブイン	客の買え控え変わらず。
		ドライブイン	客単価も上昇する兆しは見えず、来店客の増減も無いことから景気は変わらないと思われる。
		ゴルフ場	料金の交渉が増え、それに対応しつつ集客しているのが現状。来場者は確保しつつ、収入が伸びないのは相変わらず。
		ゲームセンター	どちらかといえば悪くなりつつあるのかもしれない。季節的な要因を含めても来店数は減少している。
		レジャー施設	大手企業の統合・撤退・リストラなど景気回復の兆しが見えない。
		理・美容店	商店街では、低料金の店（理容）が増えて、他店は客足がとどえて大変そうだが、当店は幸い近くにそういった店はなくまた、固定客が多いので。
		建築設計事務所	建築の設計に関わりながら回りの様子を見てみると、特に住宅等のような高額な出費のあるものはこしばらく動いていないので状況は変わっていないと思う。
		住宅販売会社	お客様も金利状況や市場動向など様子を見ている。
		企業	農業関係者
農業関係者	直売所での販売は順調になってきている。購入者は今までとかわりなく必要な物のみを買っており、無駄な物は買い控えており、食費を抑えている傾向に変化はない。収入の減少に少しは慣れてきている。		
製造業（印刷・同関連業）	政権が交代して、何か変化があるかなと期待したが、何も変わらず。		
雇用	人材派遣業	求人する会社がなくなっている。求人する会社からやめてくれという話があった。	
	公共職業安定所	新規求人数は、対前年同月比で昨年1月より大幅に減少しており、前年同期比25.4%減、新規求職者数は同比11.5%減少となっており、有効求人倍率は0.40倍前後で推移している。	
	就職相談員	求人数が少なく、求職者が多いのは変わらない。	
家計	商店街代表者	毎シーズン来店する客が今シーズンは来ていない。当店からアプローチにも反応が少ない。	
	寝具販売	ほんとうに必要な物しか買わない。ガマン出来る物はガマンする傾向だ。	
	スーパー	昨年と比較して1人当たりの客単価が落ちている。	
	ガソリンスタンド	夜間（20時以降）の来店客が減っている。	

やや悪くなっている	和食食堂	夜の来客数が少ない。以前に比べて夜のフリー客が居ない。	
	企業	製造業（食料品）	新製品の売れ行きが気になる季節だが、営業の販売計画にいつもの力が感じられない。外国からの輸入商品や大手流通のPB政策で、市場に根付いた低価格志向が重荷である。
		製造業（印刷・同関連業）	12月（年末）はエコ関連商品（テレビはじめ電化商品が多かった）を、市（行政）で発行したプレミアム商品券（当市は15%プラス）で買い求める家庭が多かった。又市内の商店・食堂を含む飲食店でも多数使用され、商店街にも久しぶりで活気があったが使用期間も終わり、今は街中静かで活気すらない。
		製造業（金属製品）	年度末を間近にし、発注側の在庫調整が感じられる。又、新年度向けの新製品への切り替え期でもある。
		建設業	どの業界も景気が低迷しているし、景気回復の兆しが見えない気がする。
		運輸業（道路貨物運送業）	電気関係が悪くなっている。自動車関係も悪い。
		金融業	現在も景気の下げ止まり感は見えず、業種間を問わず低迷している。マクロ指標の改善も当地区に於いては、実感が無く回復の兆しは何もない。なお、今後も受注確保のための価格競争が激化し、適正価格での受注・販売が困難となり、景気に悪影響を及ぼしかねない。
雇用	求人広告	求人倍率は何ヶ月か振りに上がったが、求人チラシは上がる様子が無い。	
	学校就職関係者	生徒の就職活動において、内定先の企業が、長期の帰休をしている。また、求人開拓で企業を訪問しても、仕事が少なく、受注しても利益が上がらない状態であるという。そのため、景気はやや悪くなっていると感じる。	
悪くなっている	家計	和食レストラン、割烹	オリンピックの影響もあると思うが、客数・客単価が減少している。客が生活を守ろうとしている。
		タクシー運転手	サラリーマンの出張に来る人が少ない。飲食関係のお客が少ない為、店を早く閉めてしまう。
		クリーニング店	品物の点数が減少している。仕事が少なく残業がないと話を聞く。
企業	製造業（一般機械器具）	同業者が今年に入ってこないとの話。取引業者も（家族でやっている業者）は今年に入って悪くなっている。	

Ⅲ 景気の判断コメント — 2 景気の先行き判断コメント

(1) 県北地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	商店街代表者	季節柄その様になると思う。
		スナック	政権が交代したものの、実際にはあまり変わらないので期待はできない。
観光型ホテル		新緑の季節となるため、観光客に期待が持てる。	
企業	水産業関係者	本年は海流や水産資源の観点から豊漁か少なくとも中漁になる様です。景気が上向くことを大いに期待したい。	
	学校就業関係者	新年度になるので、また新たに事業が始まるので、就職の求人は増えると思われる。	
変わらない	家計	スーパー	客単価が変わっていないため。
		コンビニエンスストア	今後の決算発表で企業業績から先行不安は解消されず日々の買い物での消費意欲は上向かないと思われる。
		コンビニエンスストア	皆少ない給料の中での生活の仕方を身に付けたのか、以前の様に従業員さん、お客様が給料、買い物についてのシビアな話が少なくなった。まだまだ従業員募集への反応が良い為、職に就けてない人がいると思われる為、もうしばらく回復の兆しが見えない気がする。
		衣料品販売店	良くなる材料が見当たらない。
		金物・荒物・建築資材	仕事受注量が同じである。
		自動車販売店	この業界の現状において上向きになるような要素がない。
		小売業（酒類）	現在と変わりなく、良くなる兆しを感じられない。
		小売業（靴製品）	1足当たりの単価が前と同じように昨年対比でやや安価な品の要望が多い傾向にある。
		旅行代理店	お得意先を訪問しても景気が上向く要素が見当たらない。
		タクシー運転手	わからないと言うのが本音。急に良くなるとは思えない。
		タクシー運転手	地元企業でタクシーを利用される割合・単価はここ何年と変わる予想が難しいと思うため。
		タクシー運転手	参議院議員選挙が控えているが期待できない。
		ゴルフ場	昨年同時期の予約実績と現状差がない。レジャー消費を抑えている観は否めない。
		レジャー施設	施設への投資によって、昨年末から集客・売上ともに伸びてはいるが、客単価・利益率の伸びが伴っていない。
		ゴルフ場	茨城空港開港に伴う韓国からのゴルフ客数は未知数。日本経済の急激な景気回復は期待出来ないことから現状維持が精一杯とみる。
		住宅販売会社	底は打った感があるが、購入意欲を見るとまだ厳しさを感じる。
企業	林業関係者	木材価格に繁栄する要素がない。	
	製造業（精密機器）	わからない。	
	製造業（一般機械器具）	現時点で特段の良悪の要因は見られないため。	
	製造業（電気機械器具）	受注高が横ばいで、作業量においても目立った変化は見られない。	
	製造業（電気機械器具）	3月が過ぎてどのようになるか？今のところわからない。2番底が来なければ良いが。	
	製造業（輸送用機械器具）	4月以降、グリーン税制還付延長も決定したが、国内自動車販売の動向に加え賃金・賞与カット等リストラの継続可否がポイントであるが、予測が難しく不透明感は変わらない。	
	運輸業	住宅の補助金等の効果で、木材の輸送が少し出ていますが、工場等は4月、5月と生産量が減少すると見込んでいるそうなので、プラスとマイナスを合わせるとあまり変わらないと思います。	
	情報通信業（情報サービス業）	東京方面では景気回復の兆しがあると聞かすが、まだまだ県内には明るい材料が見当たらない。3ヶ月という短期では景気は横ばいと思う。	
	不動産業	住宅エコポイント・太陽光発電補助に関しても、額が少額でお客様の買い得感に繋がっていない。また、身の回りを見ても積極的な投資や公共工事など明るい材料に乏しい。	
雇用	求人広告	変わる要素が無い。でも変わって欲しいですねえ…！	
	公共職業安定所	雇用調整助成金の申請件数を見ても、大幅な減少になっていないことから短期の回復は見込めないと考えます。	
やや悪	家計	スーパー	お客様の出費する額がもう決まっているように見える。食品が増加すれば衣料その他は削減される。パイが固定されると競走激化で価格低下する。お客様がそう望んでいるのではなくサイクルがそうなっている。
		衣料品販売店	デフレ傾向が続いていて景気も悪いというニュースが多い為、消費者がお金を使う事を控えている。
		和食食堂	何か急に道路工事が増えて片側通行のせいか売り上げに影響している。
		観光型ホテル	現在も、前年度の売り上げに対し客数・客単価も落ちているため景気は悪くなっていると思う。
		観光型ホテル	宿泊については、変化が見られないが、日帰り予約が前年同期と比較して減少している。
製造業（製缶）	取引先より平成22年度は作業量が減少する話もある。		

悪 く な っ て い る	企業	製造業（電気機械器具）	景気回復の兆しが見えてくる材料が見当たらない。
		製造業（電気機械器具）	久しく低調であった半導体関連の取引先が動き出し、医用関連の企業も順調に推移している。一方、弊社メイン取引先である情報通信関連が良くない。受注金額は右肩下がりが続く。よって3ヶ月先の取引先計画から判断して景気は良くない・やや悪くなっていると思われる。
		製造業（電気機械器具）	製品の受注量が減少しており、生産の見込みが立てられないでいる。
		製造業（電気機械器具）	親会社の計画では、2010年上期は前期に対しやや下回るため。
		金融業	前回到続き、地元大手企業が円高の影響から協力会社及び下請け会社へ発注している仕事の海外へのシフトを行っており、リストラによる経費削減を実施する中小企業者が増加してきている。また、別の地元大手企業についても、自動車業界のリコール問題の影響によりハイブリッド車両の部品受注に今後懸念があり、下請けの中小企業者に不安の声が上がってきている。
雇用		運輸附带サービス業	ビル設備関係の公共受注は年度末に集中する傾向がある。したがって、前半（10月頃まで）は厳しい環境である。
		求人開拓員	県内大手企業関連事業所では、新規受注が増加せず、注残が減少してきて尚一層の厳しき声が出ています。
悪 く な っ て い る	家計	商店街代表者	国の施策等回復要因がない。将来に対する希望・明るさがない。少子高齢化に対する不安要因。
		ガソリンスタンド	業界的に言えば、客の節約、エコカーの普及による悪化。
		小売業（水産物）	この半年で売り上げが下がり始めているので、3か月後に良くなるとは考えられない。
		ゴルフ場	4～6月の予約状況は対計画値で4月53%、5月40%、6月43%であり、前年比で10ポイント減少している。
		クリーニング店	お客様からも景気の良い話は無く、当業界については単価が下がり、客数も減少しており、この先景気が良くなる材料がない。
企業		建設業	お客様の設備投資計画が縮小となっているので景気は悪くなる。

(2) 県央地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	百貨店、総合スーパー	お客様もお店の使い分けが定着してきており、何がなんでも低額品が良いという事でも無くなってきている。
		自動車販売店	9月の補助金が受けられるまでの期間はそのまま推移すると思われます。
		専門スーパー	天候、気温等が上がってくれば屋外での活動が活発になって来るので、ガーデン関係や農業資材での動向が上がって来ると思える。ガーデン・園芸関係においては、安心・安全を意識した家庭菜園が伸びて来ている。
		タクシー運転手	桜田門外の変、借楽園の梅まつり・桜まつりなど県や市のイベントがある為、3ヶ月後の景気が良くなっている事を期待したいです。
		レジャー施設	当施設利用の問い合わせが若干増加しているため。
	企業	農業関係者	個別補償制度など農政転換により、制度の理解までにはまだ時間がかかるが、期待感が高く生産意欲は向上している。
		製造業(一般機械器具)	やや良くなるように思う。自動車・建設機械関連が良くなったため。半導体はまだまだ。
		製造業(精密機械器具)	自社製品の引き合い件数の増加と、相手先商標製品(OEM)の海外戦略(中国)が積極的なため。しかしながら、2番底の懸念も払拭された訳ではないので、やや良くなっているとしました。
		情報通信業(情報サービス業)	多くの顧客は、投資に対する慎重姿勢は崩しておらず、市場においては当分の間、少ないパイの獲得を目指した収益度外視の価格競争が懸念される。しかし、顧客の一部からは、ここ暫く遠ざかっていた設備に関する話題も出て来ており、先行きに期待が持てる。突然的なマイナス要因がなければ景気はやや良くなって来るものと思料する。
		サービス業(コンサルト業)	今月は、不況の影響で前年の数字が悪かったため、その反動で良くなったと考えられる。今後3ヶ月もその傾向が続くと思われる。
変わらない	家計	商店街代表者	これといった景気回復の要素がない。
		商店街代表者	客単価や利益率が減少している。消費も伸び悩み景気は良くならない。
		百貨店、総合スーパー	物価の下落が鮮明になったことや、消費者の節約意識はもはや当然のようになっていることから、客数・単価の減少傾向が今後も継続するものと考えられる。
		スーパー	給与が増えることにより、消費が増えるということが起きていない為。
		スーパー	見通しがたたない。
		スーパー	政府の政策実施後すぐには景気に反映しないと思われる。
		コンビニエンスストア	物があふれている状態の中で、売れる商品が少ない。(生活で必要な物は揃っている人がほとんど)各人の給与などが上がるなど金銭的余裕が出てこないと物が売れない状態が続く。
		コンビニエンスストア	仕事が増えない限りで景気が良くなるとは思わない。昨年は給与が減った方も多く、消費を控える傾向は引き続きと感じます。
		家電販売店	巡回をしてもお客様の反応があまりない。
		農産物直売所	飲食部門や高級ブランド食品の前年比は横ばい傾向。
		レストラン	3ヶ月後の受注を見ても、昨年と変わらない。
		レストラン	茨城空港が開港し、少しは期待をしているが、今のところ大きく変わるとは思えない。
		ファミリーレストラン	要素の変化はあるかもしれないが、動向は継続して現状が維持されている。
		都市型ホテル	この先、3ヶ月後の予約の状況が昨年よりも少ない。今後期待をしているが、上回ることは難しいと思う。
		旅行代理店	旅行業は、景気回復した場合でも効果が出るまでには時間がかかるため、また昨年の新型インフルエンザ影響のリバウンドを期待しているものの眼に見える形ではまだ成果が出ていないのが現状。
		タクシー運転手	景気回復は期待できず、景気には変わりはないと思う。
		タクシー運転手	お客様の話などからいい話は聞こえず、現状維持をするのが精一杯である。
		ドライブイン	日々仕事を通じて接客をしていてそのように感じます。
		観光名所	予約状況などを見ると、例年並みで推移しているが、3ヶ月後の6月からの高速道路無料化に伴うETC割引の土・日・休上限1,000円が終了することが懸念される。近辺の高速道路は無料化と関係が無く動向は気になる。
		ゴルフ場	景気不透明の折、レジャーにけるお金を使うようなことがあまり見受けられない。
パチンコ店	例年GW以後まで稼働売上げが増加する時期ではあるが、現在のお客様の流れからすると、今以上に来店客数の増加等が見込めなく多少の増減はあると思うが全体的には変わらないと思う。		
レジャー施設	茨城空港の開港により、観光客の動きが活発になると期待している。海外からの客に対応するため4カ国語標示など対応に努めているが、まだまだ未知数であるため景気回復までは時間がかかると思われる。		
理・美容店	テナント(貸家)が増えて廃業する店が増えました。		

	建築設計事務所	手持ちの仕事が少ないためか業務費がダブリング傾向にある。	
	住宅販売会社	住宅版エコポイントの導入が決まったが、どれくらい効果があるか未知数である。	
	企業	製造業(食料品)	先行き不透明。
		製造業(印刷・同関連業)	大型の仕事が無いため。
		製造業(金属製品)	昨今の頃は、来年3月までには景気が回復すると考えていたが、良くなる兆しがない。
		建設業	年度末決算の結果で変わると思うが、政治も混沌としているし、良くなる材料に乏しい。
		運輸業(道路貨物運送業)	エコカー減税・補助金の延長やエコ住宅の新築・リフォーム時のエコポイント取得などによって何とか現状を維持していく。
		金融業	今後の見通しについて、明るい兆しがあるといった話を耳にすることが皆無であり、3ヶ月程度で現在の不景気が改善されるとは考えにくく、ある程度現状のまま推移するのではと思われる。
不動産業		数ヶ月間では変化はないであろう。	
サービス業(広告業)	新年度の広告予算は、特に増えることはない。削減の限界までできているので、大きな変化はない。		
雇用	就職相談員	2月度は、1年ぶりに求職者(新規来所者)が97%と割り込みました。採用予定人数を見ると、対前月比3割増加と明るい兆しが見受けられる。しかし、景気が回復したとしても、即雇用情勢は一步遅れます。本格的な雇用の回復基調ではないように思われます。	
やや悪くなっている	家計	専門スーパー	明るい材料が無いため。
		割烹料理店	日本全国どこでも同じだと思いますが、お金を使う事に不安を感じているように思います。
		都市型ホテル	今後も企業での利用が望めない。
		観光型ホテル	昨年と比べても予約状況がさらに落ち込んできているように思う。
		タクシー運転手	昼・夜水戸駅前であっても人の動きが少ない。大工町の飲食店のタクシー乗り場の人がまばらである。
		ドライブイン	現在の景気状況から、良い先行きは期待できない。プラス要素が見当たらない。
		理・美容店	最近来客周期が、3ヶ月サイクルになっているので2月が忙しい分6月は余り期待できない。
企業	人材派遣業	短期的な仕事が終了し、売り上げ減になる。	
	求人広告	このままの状態が続くと…キケン!	
	公共職業安定所	雇用調整助成金を活用し休業を実施中の事業所で2年目に入るケースが増えている。中小企業の製造業では、受注量が戻りつつあるところも一部見受けられるが、取引先や製品によって様々であり、今後の景気回復は二極化が進むと思われる。	
	学校就業関係者	私の普段の仕事からは景気の将来を判断し難いのですが、政府が金と政治を問題にしているばかりのような報道が続き、上滑りの雇用対策ばかりが聞こえて参りますので、先行きに期待できません。	
悪くなっている	雇用	製造業(食料品)	消費の回復がみられない。
		製造業(印刷・同関連業)	良くなる要素が見当たらない為。
		製造業(窯業・土石製品)	期末までの仕事がわずかではあるが入っているのに対し4月以降は先が見えない。

(3) 鹿行地域 【先行き】

(－：回答が存在しない。 ○：主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント	
良	—	—	—	
やや良くなっている	家計	日本料理店	客との話の中で悪い材料が全て出た。注文量も少しずつ戻ってきているとの話をきけた。他の客も悪くなるという話はなかったので良くなるのではないかと。	
		理・美容店	現状の状態での生活レベルが安定している方は、少しずつ消費の金額を増やしていくのではないかとと思う。	
	企業	製造業（食料品）	漁期に入り製造、販売に動きが出てくる。漁獲量、種類により左右される。	
		製造業（食料品）	暖かくなり、日照時間が長くなれば多少は影響は出てくると思う。人の動きが無いと金も動かず、季節がらその時期で行動なくては消費も無い。期待したいものだ。	
		運輸業（道路貨物運送業）	3月末まで不調傾向にある荷主も、4月から本格的な売れ筋の製品はしっかり生産していくと思う。ここに来てSP（ストックポイント）の多い物流体系は総体的に需要家とのタイムラグ、変更、追加を考えた時、直近での展開の出来る体制を又考え直している。運送費が安くすむ。	
		サービス業	今年度の決算が上期に比べ下期の方が改善傾向にあり、次年度はやや好転すると考える。	
	変わらない	家計	商店街代表者	会員の減少、組織活動の低迷など、行動するにも、動ける人員が少なく団体としての販売促進活動が起こせない。
			商店街代表者	特に変化はないと感じる。どん底。
スーパー			リーマンショックから一年が過ぎ、前年対比では良くなるが、前々年からの対比で良くはならないと思う。	
スーパー			仕事やアルバイトの先が見つからないような話が出る。目玉品にだけ集中する買い物の仕方。	
コンビニエンスストア			賃金のベースアップが見込めず、将来への不安感是不変。現状維持が続くのではないかと考える。	
家電販売店			エコポイントの延長が決定され、売上げは期待される。ただし、商品単価のダウン傾向が懸念される。	
自動車販売店			特に理由はないが、3月の状況からして6月に今以上良くなる感じがしない。	
小売業（酒類）			景気が良くなる材料が見当たらない。	
衣料品販売店			子供手当てなどあるが短期間での変動はないと思う。	
そば処			3か月先位ではとても変わることはないと思うから。	
洋食食堂			「変わらない」と言うより「わからない」と思う。	
割烹料理店			求人広告の業者の話では、求人を出す会社が少なく、困っているというので、人も動かずなかなか良くならないのでは。	
タクシー運転手			新年度（4月）東京からの営業マンが来ない。鹿島臨海工業地域の企業の定期修理が5～6月に入ります。それ以降良くなる事を期待している。	
タクシー運転手			調査する事で、業界全体へ「上昇」を与えて下さい。運転手が増え営業車が増えるくらいに。「減車」が取り沙汰される現状打破をお願いしたい。	
ドライブイン			目立った景気回復は、期待できないため。	
パチンコ店			不景気には強い業界と言われてはいたが、年末年始の状況を見ても、以前の様な集客は無く、GWの大型連休もそれほど期待は持てない。	
理・美容店		今後3か月先も今の景気が上向きになっているとは思えない。		
クリーニング店		農家の方は天候次第なので、今のままだとは変わらないと思う。		
室内装飾業		都会でさえ不況で苦しんでいるのに、こんな片隅の田舎から先に景気が良くなるとは思わない。		
住宅販売会社		特に変化はないと思われる。		
住宅販売会社	現在の政治不安があり、景気が上昇する大きな対策が講じられていない。			
企業	水産業関係者	漁獲状況には季節変動があるものと思われるが、為替に大きな変化が無い場合、現況のまま推移するものと判断する。		
	製造業（印刷・同関連業）	良い材料も悪い材料もない。		
	製造業（化学工業）	更なる経費削減・会社の意識改革など、全社的に進んでいるが、まだ効果は見られないと思う。		
	製造業（鉄鋼業）	急速な回復は見込まれない。（製品価格等）		
	建設業	先に見えるものがない。例えば見積りも少なく少ない。		
雇用	人材派遣業	海外の諸外国に比べて、我が国だけが景気対策に手つかずの状況であるように見える。各企業ではあらゆる手を講じて生き残りに向けた対策が講じられていると思う。この様な状況が続き、且つ又派遣法の大幅な見直しとなると派遣者のみならず派遣会社に籍を置くものの雇用確保が極めて難しくなる。		
	民間職業紹介業	当地域の雇用情勢から考えてもなかなかマッチングが難しい感がある。		
	公共職業安定所	当該有効求人倍率が同数値で推移するものと判断されるため。		

	学校就職関係者	現段階では予想が付かない。	
	求人開拓員	当地区においては3か月先に於いても、現状と変わる要素は見出せない状況にある。現時点では緊急雇用関係の求人はあるものの、いずれも半年長くて1年の雇用期間の物が殆どであり、付け焼刃的要素が感じられる。緊急雇用枠で就職先が決まっても半年後又は1年後には再度求職活動を開始しなければならない。根本的な景気の回復にはさらなる時間がかかると思われる。	
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	我々の地方都会共には景気の悪循環低迷期に有り消費が冷え切っているのが実態であると思われる。将来の景気について客と話を交えるが、単なるデフレ現象ではなく潜在需要は景気の刺激策次第で多大な発展の可能性を秘めており、アメリカも自らそこに覚め、グッドイヤータイヤ等で関税の調整に入り国内産業の振興に力を注ぎ出している。
		コンビニエンスストア	何の景気対策もない為、急激な変化は見込めない。
		小売業（菓子販売店）	客単価や砂糖等の度重なる値上げによる利益率が減少しているため、やや悪くなると思う。
		小売業（金物店）	先の予測がつけにくい。内需が活発な動きが無い。
		小売業（書店）	そろそろ節約疲れになってきたのではないかと？今月の客足やまとめ買いが多くなってきたが依然運営には注意すべき。
		観光型ホテル	宿泊予約数が少ない。
		レジャー施設	土地柄、自営業（農業従事者）に専念する時期により、利用者は減少すると思われる。
悪くなっている	企業	製造業（化学工業）	昨年同様、稼働を維持しながらの価格交渉という難しい状況になりつつあり、利益確保の厳しい状況が続くと思われる。
		金融業	先行きの不透明感は払拭できず、資金繰りを要する零細企業も増加傾向にあり、景気後退は続くと思料する。
		保険業	農家、野菜、さつま芋の価格が低迷している。カーテン工場で人員整理が出ている。
悪くなっている	家計	農産物直売所	社会全体が悪くなると思われる。
		小売業（薬品店）	景気を持ち上げる要素がない。
		観光型ホテル	当館の予約状況・消費単価・毎日接している客や取引業者の方々の声から判断。
		タクシー運転手	今の政権では景気が良くならないと思う。
悪くなっている	企業	農業関係者	例年に比し、メロンの着果が著しく悪い。原因は低温にあり、着果の重要なポイントであるミツバチのハウス内での活動が思わしくなかったことにある。5～7月はメロン出荷の最盛期となるが、ここ数年で最低の生産量になるのではないかと危惧している。
		不動産業	デフレスパイラルになっていて、下がれば下がる程生活が苦しくなってくる。

(4) 県南地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(非鉄金属)	3か月インフレーション上で3か月の平均受注量は、対前年比150%強を予定している。ただしメーカー側のコストダウン要請強く、一部先行き見通しも不透明感もあって設備投資は極力控える予定。
やや良くなっている	家計	ガソリンスタンド	各職種もだいたい淘汰されたのは間違いないとの事だ。今からは大手企業の生き残りであるから。
		和食食堂	希望を持って。
	企業	建設業	取引先(上場企業)でも組織再編により工場内の各施設の改修工事が多く見込めると思う。これらの工場では、道路改修工場の土間改修、屋根、サッシの取替などかなり金額的には大規模となる。これらの工場では、2~3割の従業員の削減をしたが、現在の体制では、残業するまでになってきたと3~4社の工場長から聞く。
	雇用	人材派遣業	様々な業種で戻ってきているという話を聞く。雇用するまではいいいないが、3か月先はやや戻っていると思う。
		公共職業安定所	雇用調整を行っている企業が、少しずつ受注が入ってきたため雇用調整の実施計画を縮小している。
		求人開拓員	業種によりばらつきが見られるが、以前と比べて最悪期は脱したという声を聞く。
変わらない	家計	商店街代表者	新年度に変わっても各家庭の収入が下がる事があっても増加する事が見込めずとの消費者から聴く現状の状態では売上は伸びず景気は良くなることはなく変わらないと思う。
		スーパー	売上高、客単価の前年比の減少幅がここ3か月変わらなく、この先も良くなる要因が見つからないので変わらないと思う。
		スーパー	良くなる要素が見当たらない。
		スーパー	小売業界は、更に低価格傾向に進むと思われるが、客の反応が期待できない。
		コンビニエンスストア	プラス買いをされるお客様は少なく、良くも悪くもなるとは判断出来ない。
		農産物直売所	景気対策の遅れ等、好材料は見当たらず上昇気運は感じられない。
		農産物直売所	今の景気では変わらないと思う。
		洋食食堂	会社の移転などが減る要素が多くランチタイムも厳しい状況が続くそうである。
		寿司店	やや悪くなっているのまま変わらないと思う。景気が良くなるような状況がない。
		旅行代理店	消費しようという感じが無い。この先も政治がうまく回らなければ変わらないと思う。
		旅行代理店	良くなっていくようないい話が見えてこない。
		タクシー運転手	社会的に景気が悪いので変わらないと思う。
		タクシー運転手	「やや悪くなっている」につけていたが、土浦市、つくば市あたりの空店舗の回転が良くなってきているらしい。家主も努力されているわけでそういった全般をプラス思考に考えて「変わらない」にした。
		タクシー運転手	会社関係の利用は落ち込んだままであろう。夜の顧客の出足も鈍いまま。
		タクシー運転手	収益や所得の減少に加え、モラル低下の現実からしてまだ上向だけの力が感じられない。
		タクシー運転手	今以上悪くなるとは思えないが、景気回復、良くなる兆しも見当たらない。
		ゴルフ場	予約状況からして、大きな変動は見られない。ただし、単価が全体的に低落していきそうな気配が感じられる。
		ゲームセンター	売上だけでなく来店客数も前年割れが1年以上続いており3か月先に良くなる要因が見当たらない。
		建築設計事務所	見積り問い合わせはほとんどない。
	住宅販売会社	右肩上がりに良くなっていくという甘い見通しにはならないと思われる。	
企業	製造業(一般機械器具)	3か月先も大きな変化は見込めない様に思う。	
	製造業(食料品)	変わる要因は考えられない。	
	製造業(食料品)	良くなる要素が無いので、悪い状況で変わらないと思う。	
	製造業(飲料)	これいって起爆剤がない。	
	製造業(窯業・土石製品)	景気に対する行政のメッセージが明確に打ち出されていないので、現在と変わらないと思う。	
	製造業(一般機械器具)	特に景気の良くなる材料がないため。	
	運輸業(倉庫業)	業界により、好不調があると思われるが、今後の情報により左右される。	
	金融業	郊外への大型ショッピングセンター進出等により、中心市街地は閑散としている。また、飲食業の業況悪化が目立っている。	
	不動産業	3か月前と比べて特に悪くなった又、良くなった要因は見当たらない。全般的に低調モードにはある。	
	雇用	求人広告	新卒者を採用する傾向も見受けられない。
学校就職関係者		来年度の職業訓練の応募が始まったが、昨年度同様の応募者数であり、3か月後も現在と同様との感触である。	
		スーパー	競合店が更に安売りを強化しており、値合せの実施により一品単価は更に落ち込むことが予想されるため。

やや悪くなっている	家計	スーパー	一品単価の下落を止める要素が思いつかない。
		専門スーパー	証券が動向が悪く、さらにトヨタや本田のリコールによる品質問題、子供給付金や太陽光発電などの補助給付問題で該当外家庭の負担が多くなるため景気が良くなるとは思えない。
		洋食食堂	地元工場の従業員からの話としては、昔はいろいろなサービスが自分達にあって給料も上がって大変良い時代であったという。だが、そのサービスもなくなり、リフレッシュ休暇だけはあるとのこと。30年勤続で30万もらえたという。だが、その従業員さんが市内では飲食せず市外に行っているという事を聞いた。市内の店がすたれてしまっている。
		都市型ホテル	宴会、宿泊で、ディーラー関係の企業も多いので懸念される。とりあえずプラスに働く事はないので、やや悪くなっていると思われる。
		都市型ホテル	今後の宴会、レストランの予約状況をみてみると一人あたりの利用単価を下げたいとの希望が多少増加している。
		ゴルフ場	予約の出足が遅すぎる。昨年並の利用率が確保できるか大変不安だ。予約が取りにくいから前もって取るというより、どうせ空いているから少しでも安い料金設定の所を探すという感じがうかがえる。
悪くなっている	企業	農業関係者	農産物の価格が上向きにならない状況、そして米に関しては在庫を抱え販売が伸びない中では、22年産米に対する期待は薄い。価格が低い状況では、生産意欲や費用を掛けての品質の向上にチャレンジする生産者が減り、なるべく安い資材として使用数量の削減を求める生産者が増えてきている。
		製造業（窯業・土石製品）	政府の新年度予算案における公共工事関係費が前年比18%減で決定するとなると今後の受注に影響が出てくると思われる。
		建設業（設備工事業）	受注減少と思う。
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	お客様の購入状況も良くなり、お客様の声も良くない。
		レジャー施設	まずは景気が悪すぎる為、客がお金を出さない。今後も良くはならない。
	企業	製造業（印刷業）	新年度に入っても、公共事業の減少は進むと見られる為。
		建設業（設備工事業）	3か月先の6月は梅雨の時期であり仕事も減少するが、3か月先の工事予定はまったくなく減少傾向が続くので景気は悪くなると思う。

(5) 県西地域 【先行き】

(- : 回答が存在しない。 ○ : 主だった回答等が存在しない。)

回答	分野	業種・職種	コメント
良	—	—	—
やや良くなっている	家計	寝具販売	子供手当への支給に伴って良くなってもらいたい。
		家電販売店	政府の家電エコポイントが延長となり、今後も期待ができる。
		ビジネスホテル	補正予算の執行やら、本年度予算の成立などに加えて3～6月期は人の動きがでてくるのでやや持ち直してくるのではないかと。
		ゴルフ場	予約の状況にて。
	企業	不動産業	地元の大手企業が駐車場の大量契約を締結した（一昨年末には派遣会社が大量解約になったところにプラスで借りた）。
雇用	人材派遣業	5, 6月から仕事が入る予定だ。	
変わらない	家計	商店街代表者	良くなる判断材料がまったくない。
		スーパー	景気の先行きが不透明で安心して消費に収入や貯蓄を回すことは出来ない状態がまだしばらくは続くと思われる。
		コンビニエンスストア	GW以後の梅雨時期は盛夏に向けて支出を抑える傾向が強まる一方で、夏の行楽客に対する期待感もあり、相じてプラスマイナス両方の効果があると見込まれる。
		コンビニエンスストア	企業決算の発表などの報道や政権への不安感などから、更に不安心理が強まっていくと予測される。既に厳しい状況だが、小売業への回復にはまだ時間がかかると思われる。
		農産物直売所	短期的に景気が回復するとは考えられないので、変わらないと思う。
		ガソリンスタンド	景気が上向く要素がない。
		和食食堂	景気が上向きそうな材料が見当たらない。
		和食レストラン、割烹	ゴールデンウィークが終わった後で客が動かないように思う。動いても安売の店に集中していくのではないかと。
		都市型ホテル	今現在、3か月先の予約の状況を見ても、特に多く入っている事はないので、変わらないと思う。
		タクシー運転手	日々の客の話も、景気が良くなる見込みがないから、お金が使えないと言う話を良く聞く。サラリーマンも、残業できないので休日振り替えて仕事をするので、年休が消化できないと聞く。
		タクシー運転手	現在のままでは、良くなる兆しが何も見えない。
		タクシー運転手	今の国会では無理だと思う。
		タクシー運転手	周りが農村地帯の為景気にあまり左右されない。工業団地の客も近の駅を利用する人が多くなった。
		ドライブイン	景気回復の兆しなし。
		ゴルフ場	予約状況は、良くも悪くもなく推移。単価の見込める大型コンペやビジターの入りが少ないのが気になる。
		ゲームセンター	今後、上向きな要因となりそうな話題などがほとんど聞かれないので、好転するとは思えない。
		理・美容店	給与など減っていると会話の中で聞かれるが、それほど生活にはひびいていないようだ。
		クリーニング店	世の中の景気が良くならない限り、家庭の財布のヒモが緩まることはないだろう。物を安売しても必要最低しか物を購入しないのではないかと。
		建築設計事務所	住宅等の建築物の動きが少ないため、数ヶ月後も状況は変わらないと思う。
	住宅販売会社	来年度上期中は、まだ変化はないと思われる。	
企業	農業関係者	生産者は量販店（スーパー等）の価格低下により収入が減少（野菜等の価格破壊）により手取り減少、生産費の減少（使用できる生産資材）を一回で捨てるのではなく、2～3回（マルチ、ビニール等）使うように心がけているので、生産資材が前年より売れない。今後3か月先も景気が回復しない限り続くと思われる。	
	製造業（化学工業）	携帯や液晶関連はやや中国での需要の伸びに一服感がみえるが半導体関連は堅調に推移しているため。	
	製造業（窯業・土石製品）	少しずつ動いてきているが今後の動向は非常に難しいがこのままで行けるのではないかと。	
	製造業（電気機械器具）	長期的な増員についての情報は無いが、現状の作業量が短期的なものという情報も無く、現状が続くものと思われる。	
	運輸業（道路貨物運送業）	輸出が少ないため。	
	金融業	中小零細企業に於いては、固定費（人件費等）の削減により企業存続の維持を確保している状況が続いている。給与の減少により、消費意欲は弱い。短期的な展望においては、現状と変化が無いと思われる。	
雇用	求人広告	3ヶ月先でも求人チラシが増える時期ではないので見込めない。	
	公共職業安定所	景気の先行きが不透明との声が多く、雇用調整助成金等の活用について問い合わせが増えてきている。	

	雇用	学校就職関係者	今後も、企業からの求人が増えるとは考えにくい。企業活動も、5月の連休位まで全く先が見えない状態である。
		就職相談員	高卒、大卒の新規卒業者の就職率が良くないので、このままの状態が続くのではないだろうか。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	春という季節（初夏）は一人の客単価が少ない。来店客の第一声が「景気が悪いな」で始まる。
		スーパー	同業他社間の価格競争に拍車がかかっている。安売り合戦がエスカレートしている。
		自動車販売店	一部業界で行われている優遇税制もピークを過ぎてくると思う。ある程度購入客に行き渡れば、少しずつ景気は後退すると思われる。
		和食食堂	宴会の数が少なくなっている。
		ドライブイン	デフレ基調の改善は見えず、春闘でのベースアップはおろか定期昇給すら危ぶまれているなか、財布の紐は益々硬くなるものと考えられ見通しは厳しいと思われる。
		レジャー施設	消費者の出控えが予想される。
		理・美容店	今までと同じ仕事では客もマンネリしてしまう。新しいサービスを始めるなどしてメニューを豊富にする。
	企業	農業関係者	天候不順により農作物が不作となっている。収量減の割に価格は上がらず逆に下落している次第である。
		製造業（食料品）	子供手当ては愚策中の愚策。周囲の子供を持つ親に聞いてみても、すべからず貯金に回すと言っている。小売店の消費が伸びるとは思えない。
		製造業（印刷・同関連業）	商店街が、一軒また一軒と辞めていく。シャッターを下ろしたところ、店を壊して駐車場にするところ、又製造業においても納入単価を年々下げられ、給料を払うのもままならず廃業していくところ、商工会議所の会員も毎年減少するのみで下げ止まらず、零細企業の今後が大変心配だ。自己責任で頑張らねばと思う反面、国・県・各市町村の経済対策に期待もしている。
		製造業（印刷・同関連業）	官公庁の入札・見積りが、前年比で下がっている。原材料、人件費が下がっているわけではないので、採算を無視した状況が続いている。
		製造業（窯業・土石製品）	得意先が安売りの競争で在庫を持たない。それで発注を必要最低限に、すべてに仕入先へ赤字のハケ口を求めて来ている。
		製造業（金属製品）	生産計画的なものが出せない状態にある。（客先側）
建設業		景気回復への対策がなされていない気がする。（政府・日銀）	
悪	企業	製造業（一般機械器具）	他社に営業に行っても仕事がない。自社は今まで取引している会社が自動車お菓子関係でなんとかながっている。

Ⅲ 景気の判断コメント — 3 その他の意見

(1) 県北地域

分野	業種・職種	その他の意見
	商店街代表者	所得の二重構造、貧富の差の拡大、小売店の廃業が見られる。出店の規制緩和による大手企業の地方出店による中心商店街の衰退。
	商店街代表者	地元大型スーパーの閉店により客足減となり、商店街通りに賑わいが無くなった。
	コンビニエンスストア	目新しいものの衝動買いは景気の良し悪しを問わず見られ、消費者心理として消えることはない。
	コンビニエンスストア	セールなど価格に対するお客様の反応が良い。近隣に新規出店・閉店など少なく経済の動きが停滞している様に思う。
	衣料品販売店	友人の店が閉店した。残念である。
	小売業（酒類）	経費節減の為、営業時間を短縮する店舗、飲食店が多くなっている。
	小売業（水産物）	大手から個人事業主まで幅広く電話、来社営業が増えている。アルバイト（高校生・大学生）の就職先が決まらない。
	小売業（靴製品）	ブランド指向が少し冷めて来ているように感じる。
	レストラン	大型ショッピングセンターがやめて、人の流れが変わると話している。良くなることを祈りたい。
	居酒屋	客単価が悪い。
	スナック	高速道路の土・日の利用者が急増して、全体的に道路が混雑する様になったので消費は拡大していると思う。
	和食食堂	飲食店で閉店が多く見られます。ライバル店が少なくなるから良いでしょうなどと言われるが、景気が冷え込んでる今日、とにかくさびしさだけが増します。
	観光型ホテル	お客様の1回に使う予算が減少している。
	タクシー運転手	地元企業が今年誕生100周年を向かえるそうで、それによりタクシーを利用される事を期待したいと思います。ただ、これは、一過性のもので、来月からは今までの様な売り上げになると思いますが、厳しい生活になる事を覚悟しています。
	ゴルフ場	プレイヤーの動向は、高齢化に伴い元組とそうでないグループとの格差が目立ち始めている。今後、気象変動を注視した顧客サービスを工夫しなければならない。
	レジャー施設	近所の大型フードマーケットの早期（日曜日10時～12時）10%割引企画が終わってしまった。理由はそんなことをしなくても客が来るからではなく採算が合わないからだそうだ。3年位やっていたのに。
	住宅販売会社	いまだ閉塞感が続いている。明るい話題が欲しいところだが、もう少し時間がかかりそうだ。
	林業関係者	森林整備加速化、林業再生事業の取組による間伐材のフル活用に期待したい。
	水産業関係者	政局が大きく変動しても、当方まではまだ届きません。新政権にも水産まで良い政策が組み込まれることを期待します。
	製造業（精密機器）	昔より、食品の価格が下がっている。
	製造業（製缶）	同業者で、帰休・人員削減をしている所もある。
	製造業（一般機械器具）	直近の身の回りの景気に関しては良くも悪くもなっていないように思う。昨年4～5・6月の新型インフルエンザによる各種の自粛の動きが今年はいかなるものになるか注視している。
	製造業（電気機械器具）	自社の業績不振により、2010年上期リストラ（早期退職）や賃金カット等が懸念されている。昨今の自動車業界の性能品質不良によるリコール問題で、某自動車メーカーの関係部署の信用回復が懸念されている。
	製造業（電気機械器具）	経済回復が見えて来ない。廃業される会社も増えており、前向きな話題が出て来ない。
	製造業（電気機械器具）	鋼材価格の「値上げ」の声が聞こえてくる。定期的に製品価格が下がって行く中で、製造業の加工費が更に圧迫を受ける。危機感を感じている。
	製造業（電気機械器具）	新幹線関連の仕事は現状も今後も明るい見通しのようだ。その他はやはり中国に頼るところが多いが、為替相場が気になります。
	運輸業	とにかく工場の元気がないのが気になります。
	金融業	前回に続き、地元大手企業を取引先及び顧客としている中小企業者が多い為、同関連会社の不振から影響を受けている状況です。飲食業については、地元大手企業の社用接待等に下げ止まり感があるものの、中小企業者等の地元事業者の消費が減少している。
	不動産業	弊社の分譲マンションに関しては、活況は呈さないものの良好な状況。反面、分譲住宅に関しては動きが鈍い。総額ベースで手頃感があるのか、将来の運用（賃貸・転売）が有利であるためか。このような傾向が続いている。
	求人広告	現在資格者の募集が多い。よって資格取得者が増えているような…（ヘルパー・PC関係等）
	求人開拓員	製造現場作業員の募集は増加していないが、専門職・資格者・経験者等の要望は依然として多い。これは、景気上昇との関連ではなく、技術者の定年退職者増の影響と思われる。

(2) 県央地域

分野	業種・職種	その他の意見
	商店街代表者	水戸市に限ってであるが、千波湖周辺整備や映画撮影の誘致などで観光地として宣伝効果があらわれたせいか、以前より観梅の人氣が高まっているように感じる。観光地として魅力のある町づくりをして多くの人に来てもらい地域経済を活気づけたい。
	商店街代表者	最近のお客様は、質ではなく価格で物を判断し選定している傾向があります。お客様が購入するに当たり見積もりが多くなり、予算に依っては発注見合わせや競走見積もりが増えています。競走見積もりにおいては、これまで通常価格の20%~50%引き位で納入出来たのが、通常価格の30%位で落札してしまう業者がいるので大変苦勞をしています。本当に努力での低価格であれば問題は無いのですが、指定商品やメーカー品ではなく同等程度と称して粗悪な商品を探し低価格で納品してしまうので、次回からは低価格だけが独り歩きしてしまい低価格商品価格が定着してしまいます。
	百貨店、総合スーパー	高額品の動きが出てきており今後に期待している。
	スーパー	生活必需品（食品・消耗品）の売り上げは安定しているが、高級品やアパレルの動きは悪い。
	スーパー	クーポン券・割引等、安さを感じる時の利用が多い。
	コンビニエンスストア	物を買う時に、インターネットなどで調べて値段や質など情報を多く調べてから買い物をする人が増えている。買い物に対して慎重になっている。
	コンビニエンスストア	価格の高いものであっても付加価値があれば売れるという状況もあり、デフレの中にあって相反する動きもある。日々の生活が苦しいという事ではないようで将来不安からの買い控えが続いていると感じます。
	家電販売店	買い物に対してシビアになっていて、必要の無いものはあまり買わない。
	自動車販売店	代替期間が相当延びてきております。新車市場は今後前年を超えるまで回復するには時間がかかるようになると思います。
	農産物直売所	店への立ち寄りツアーバスが増加傾向にあるが、ツアー参加料は低価格のバスがほとんどであり、買い上げ点数はきわめて低い。茨城空港見学と思われる自家用車の通行が増えているので、客数増が見込まれる。
	専門スーパー	引っ越し、異動などで使用する身の回り品において、その期間使用出来れば良いと考える傾向から安価なものになっている。
	レストラン	会社全体での会合は減少し、部署ごとの少人数の会合が増えてきております。
	レストラン	茨城空港の開港により、韓国からの観光客が来ることを期待している話を聞く。
	ファミリーレストラン	茨城空港の話題が増えた。
	都市型ホテル	個人の利用としては、女性を中心とした動きはあるが、企業（男性）の動きがあまりよくない。
	観光型ホテル	インターネットなどで商品の比較が簡単に出来るようになり、同じような商品は価格の安い方に流れるのでますますデフレが進行しているように思える。
	旅行代理店	茨城空港の開港による波及効果を期待している。
	タクシー運転手	経済不安などで、非常に低下している。厳しい状況が続くと思う。
	タクシー運転手	他業種からタクシー運転手になる人が増えたように思える。
	タクシー運転手	偕楽園観梅シーズンの為、人の流れはあるが、土・日に限られる。天候が悪ければ尚少ない。
	パチンコ店	様々な店舗を見ていると、客数の減少店、増加店の差が大きくなっているように思うが、全体として見ると特別な変化は感じられず、店舗の強弱だけが強く感じるだけなので変化はないように思う。
	レジャー施設	話題性のある展示やイベントの実施を心がけているが、天候など外的要因で効果が薄れることも多々ある。しかしながら、興味を示してくれる入館者は多いので、より面白い企画を仕掛けていけば入館者確保につながるかと考えている。
	理・美容店	組合費を出すのがつらいとやめる会員が今までで一番増えびっくりしました。先が不安になりました。
	建築設計事務所	求人募集に対し、広範囲からの反応がある。
	製造業(食料品)	昨年より個人商店が2店舗閉店している。
	製造業(食料品)	特価サービスなどにだけ顧客が集まる。
	製造業(印刷・同関連業)	同業者が民事再生を申請した。
	製造業(窯業・土石製品)	全体的に物価が安くなってきているような気がする。
	製造業(金属製品)	工事量の減少に伴い、赤字覚悟の安値受注が横行しており、業界は生き残り競走に入っている。
	製造業(一般機械器具)	景気が悪くなって1年が過ぎようとしている。全体的に弱って来ている。早く景気が良くならないと中小企業は全部だめになってしまうのでは。仕事少なく値段は安く大変な経営です。
	製造業(精密機械器具)	自社製品では、現場設置型製品の引き合いが、3ヶ月前と比較すると多くなっています。又、OEM製品も、国内の行政施策に沿った製品として、海外(中国)の要望に応える製品として、活発な動きがあります。
	建設業	あまり変化は感じないが、全体的に消費が低迷している感じがする。
	運輸業(道路貨物運送業)	一時より操業率が上がって来ているとの話題が出て来ている。

情報通信業（情報サービス業）	デフレスパイラルの恐れ有りと言われるが、特に最近の物品の値引き販売には驚きを感じる。食料品・衣類・電化製品等あらゆる商品が対象となっており、新商品でも定価通りの販売は厳しいようだ。昔から値引きはあったが、値引き幅は今よりかなり低かったと記憶する。
金融業	空きテナントや駐車場の増加が目立っており、商店街の人通りも少なく、特に大通りから一歩中へ入ると閑散とした印象を受ける。
不動産業	投機物件の購入希望者は積極的だが、融資が得られずなかなか成約に至らない。
サービス業（広告業）	飲食店の客入りの悪さ（特に居酒屋）には驚く。一人で入る人は少ないので、誰かが抑制すると、他の人にも波及してしまうので、「会社帰りの一杯」はほとんどなくなった。（2～3年前なら週2回くらいは行っていた。）
サービス業（コンサルタント業）	茨城空港の開港に関連して、人や物の新しい動きがでてきた。韓国への旅行商品の好調さはもちろん、韓国関連の商品開発や販売が活発になっている。また、空港ブランドのお土産品も出揃ってきて、開港景気による好影響が見込まれる。
求人広告	観光地等の年末年始の客・売り上げが前年割れの企業が多かった。道路的には便利になっているはずだが！！
就職相談員	茨城空港の開港にあたり求人募集が有り、多数の採用がありました。

(3) 鹿行地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	商店経営に携っているプロには明確に理解出来るのだが、何から何まで受ければ良いの観念が全ての産業に広まってしまうとお互いに貧しくなることはあっても消費者も含め豊かにならないのが経済の法則でもある。最近近くの商店主で自らの将来を悲観して自閉症に陥っている方が見受けられるようになった。近年迄はあまりなかった現象だ。政財官の三疎みに囚われず、民を忘れない政策が古来よりの定石ではないだろうか。
	商店街代表者	商店街のアンケートを実施。将来の見通しについて7割の方が「どうなるかわからない」「やっていけない」と答えている。売上げの減少、同業者との競合、経費の増加を理由に上げている。
	商店街代表者	ますますロードサイド店が増えて来て、チラシ折込も増えている。週末商戦の戦いになり、商店街通りは取り残される気がする。
	スーパー	高額品の万引き発生。日本人、外人関係なく多発している。
	スーパー	特に年令の高い方の買い物が非常に細かい。必要な物を出来るだけ安くという様な買い物のされ方をしている。入り口で必ずチラシを確認したり、目玉品のメモを持って来る客が多い。
	コンビニエンスストア	お客様は、お金を持っていて新しいものや価値あるものは購入していただける。買上点数も改善傾向にあるので消費マインドは若干上向きに感じる。
	コンビニエンスストア	高額でも価値ある商品は売れている。但し、消費者心理としては上向き気配がない。
	農産物直売所	前年10月以降の販売落ち込みが見られたが、2月は大きく落ち込んだ。前年比10%減。
	小売業（金物店）	企業が近々定期修理の話が上がっており期待している。
	洋食食堂	夜の来店客数が増えてこない。ランチは単価の低いメニューの出数が多い。中国人の農業研修生が雇用主に連れられて、来店する機会が増えている。
	割烹料理店	平均的な客単価は下がっているが、たまに極端に高い予算の予約が入るようになった。
	日本料理店	他県からの電話での商品の売込みが多くなった気がする。全国的にもまだ厳しい状況を感じる。
	タクシー運転手	新車購入の減税は効果があるようだ。家電のエコポイントも。買い控え促進に効果がある。
	タクシー運転手	期待もないから特にないが、景気調査をタクシー業界にしたら最低な結果になる。
	タクシー運転手	新しい人が入っても客が少ないためすぐやめる。
	パチンコ店	週末等の集客が弱くなった。店舗の集客力が弱まったということもあるかもしれないが、商圈全体的にそのような傾向が見られるので、個人で使うお金が減り、家族サービス等に使用しているのではないかと。
	理・美容店	安すぎる物に対しての警戒感がまた出て来ているように感じる。
クリーニング店	今月は年度末であり、月初めから忙しいが、そんなに長くはないようだ。いつもなら4月中旬ぐらいまで仕事が忙しいが3月中には終わってしまうようだ。ある会社では、若い人を採用しないで、定年前後の人をおいとして、能率が悪く残業をしている為、人件費がかさむ。その為その会社はワーキングシェアを導入しているので、反面難しいところである。（仕事の量はそれ程多くはないようだ）	
住宅販売会社	雇用不安やデフレが解消されないと、景気の持ち直しは期待できない。	
企業	農業関係者	銚田ブランドの農作物を使用した羊羹等の加工食品が誕生している。今後、全国展開はもちろんのこと、海外への輸出も視野に入れ拡販に力を入れていきたい。
	製造業（食料品）	消費は必要最少限、又、安価（特売含む）な物に集中。
	製造業（食料品）	近くに風力発電の風車がいくつも出来、またエコブームで小さい車やハイブリット車が増えて環境には良い方向に向かっている様に見える。普段の生活もあまり金を使わず、趣味・趣向の方には消費はある様に見える。
	製造業（化学工業）	今後、現状の設備能力に見合う稼働は期待できないものとして、生産規模の縮小に合わせ、設備面、労務面の合理化による構造改革を進めている。
	製造業（鉄鋼業）	安売り業界の出店が目立つ。デフレの状況が続いている。
	建設業	広告出しても全然だ。皆さん余分なお金は使わない様だ。
	運輸業（道路貨物運送業）	偕楽園の観梅が始まり、千葉、埼玉、栃木、群馬ナンバーの車が来ているが、好文cafeが開店して賑わっている。観光客は梅を観てコーヒー、ケーキを楽しんでも、それ程お土産を買って帰らないようである。宿泊するとか、料理を楽しむとかする事はしなくなっていると感じる。一切無駄なお金を使う習慣はなくなって、寂しさを感じる。文化が薄れている。
	金融業	住宅資金、事業資金の支払額軽減の相談が、除々に増えつつある状況。
	保険業	口座振替で預不足が多くなって来ている。地元銀行の貸し渋り、信金貸しすぎ。
	不動産業	お金の廻りが良くないので、今までのように外食が少なくなってきた。代行タクシーはヒマのようと呼ぶと直ぐに来る。
サービス業	新車購入の減税は効果があるようだ。家電のエコポイントも。買い換え促進に効果がある。	
雇用	人材派遣業	景気回復と、働きたい者が働きたい仕事に、働きたい期間仕事に就き更なるスキルを上げられる様な環境が重要。・・・特に人材派遣業に従事する者として。
	民間職業紹介業	特に製造業の景気回復が果たせない限り、雇用情勢の好転が図れないと思う。

(4) 県南地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	中央と地方との景気の温度差は開きが多く、現在政府が限定的商品についてエコポイントを付加して消費を盛り上げているがもっと身近な生活に直結する身の回りの商品にも考え景気の下振れを抑え、デフレ対策に力を入れるべきと思う。
	スーパー	PB商品が動いている。
	スーパー	大手のスーパーのチラシによる販促が増えてきている。特に野菜類の特売(目玉品)が増えてきている。
	スーパー	全くムダな消費をしなくなっている。節約行動による生活のスリム化が定着しつつあると思われる。
	コンビニエンスストア	最近、安い商品でも売れなくなっている。
	農産物直売所	客単価が落ちている状況。まとめ買いの客が少なくなっている。又、県外からの客も減少している。
	ガソリンスタンド	少子高齢化は間違いなく進んでいるが、とくに高齢化は我々の商売はSS業界ドライバーが少なくなる事であり厳しい状況だ。
	和食食堂	以前ならランチやディナーのピークタイムがあったのが、今はその時間が短くなった。内食が増えたのではないのでしょうか。
	洋食食堂	メインストリートの昔ながらの店がまた駐車場になってしまった。マンションの埋まりもまだ悪いようで相変わらず電話だけは多い。
	洋食食堂	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校の同窓会(熱海)に行った友人達での話(50才代) ・ゴルフ場の受付係で数十年の女性。時給800円とのこと(6人家族) ・農家の長男アパートを建て2億のローンを組んでいる。全部は満室にならないと。 ・共働き夫婦は普段はありあわせの食事だったり、パスタ等簡単に、月に数回は会席料理フレンチおいしい物を食べている。犬2匹はオーダーでご飯を作ってもらっているという。 ・相続でリッチになって、ゴルフ会員権や好きなことをやって楽しんでいる女性。 全員持ち家土地持ち。結局なんとか以上かも?生活はできている。
	寿司店	客が政治の動きにわりに敏感になっているように感じる話題になる事が多い。民主・自民の動きであったり政治の目線がどこに向いているのかとか、そしてやがてそれが景気にはね返ってくるのだろう。
	都市型ホテル	研究学園駅に、また、2つの宿泊施設が参入してくるが需要があまりない中、厳しい状況となる事が見える。全体にパイが増加すれば(つくば国際会議場での学会の誘致とか増加)景気も良くなると思われる。
	旅行代理店	エコポイントの交換者が増えてきている。
	タクシー運転手	閉塞感が蔓延している。
	タクシー運転手	夜の街に活気が戻らない、深刻な一面が感じとれる。新年度を期に賑わいが戻ることを願う。
	ゴルフ場	漠然とした景気低迷感を感じる。予約受付の際も当初予定コンベ組数の減少が、多くなっている。
	ゴルフ場	2月は天候が不順だったので実感したが、以前は雨が降ると売店でレインウェアが良く売れた。レインウェアは上下で8000円前後するのでかなりの出費となる。2月は売店でレインウェアはほとんど売れなかった。値段を見てあきらめるといった感じか、依然としてサイフのひもは固い。
	ゲームセンター	頻繁に来店していた常連客の来店回数が減少しているように思われる。また客の1人当たりの消費単価も減少している。
	レジャー施設	県・市の観光PRに参加し、客を呼ぶ又は、広報を行っている。
	建築設計事務所	スーパー、ショッピングセンター等で撤退する店舗が目立つ。
企業	農業関係者	アルバイト募集を行い面接をした中で、60歳定年後の就職先が全くなく若い人に混じって応募してきた方があり、予想以上に働き口が無いことを語っていた。また、若い人においても20歳前後で将来に対する夢や何をしたいかの考えが無い人が多いのには驚いている。定職を持たず希望も無い若者・普通高校を辞めて通信制高校に転校する高校生も多く不安を感じている。
	製造業(食料品)	研究学園駅周辺は建設が続いているが一般的景気には変わらない。
	製造業(食料品)	特に2月・3月の上旬は、景気が良くなかった。
	製造業(印刷業)	閉店する店が多くなったように見える。特に飲食店。
	製造業(窯業・土石製品)	当社を取り巻く環境は一時予想していたほど落ち込みはなく昨年以上の結果が残せそう。ただ、来期は一括交付金の中味がはっきりせず、地方の公共事業がどのように実施されるか不透明な中で経営が予想される。
	製造業(窯業・土石製品)	企業業績が低迷する中で給与が伸び悩み、一方で社会保険料の料率の変更により、可処分所得はますます減ってくる。個人消費にも影響が出てくるのではないかと。
	建設業	食品会社の工場では新築工事の設計依頼が2月下旬にあり、その他にも2~3ヶ所の改修工事を頼まれた。又専門学校など幼稚園も経営しておりその改修工事の注文があった。住宅メーカーも生産に直接関係しない所の道路工事、工場の間仕切新設、ブルドーザーの部品工場生産に直接関係のない工場内の電気の配線、空調材のダクトのブラケット受にm当りのブラケットの荷重計算、図面上に表す耐震補強図の依頼2000万円超有り。
	建設業(設備工事業)	公共工事は低価格入札が多く適正価格では難しい。良い物が出来るのか心配だ。周りは売店舗、売住宅の看板が多くなり、当社もとても厳しくなっている。
	金融業	金融円滑化法に基づく返済額軽減の依頼が急増している。
	不動産業	企業の新規採用の手控え、学生の自宅通学圏の学校への入学等賃貸客が昨年より減少している。企業間(同業)の格差が広がっている。(ネット対応・会社規模・地域間の格差)

雇用	人材派遣業	職業訓練の動きが活発。
	求人広告	茨城空港開港に伴い新道路が開通しているが、もう少し活性化が欲しい。
	公共職業安定所	新規学校卒業者の就職未内定者が就職活動のため求人情報の収集に相談来所している。
	学校就職関係者	求人数は、今年度以上に減少傾向にある。今年度も非常に厳しい状況であったため、かなり厳しい状況が予想される。人事担当者に話を聞くと、景気による売上減少の影響があるのはもちろん、中途退職する従業員がいない分採用数を減らさざるをえない。中途採用をするとかなりの応募者があり、人材が余っている状態だ。とのことだった。

(5) 県西地域

分野	業種・職種	その他の意見
家計	商店街代表者	当地区は選挙中。年末にも選挙。選挙は、商売には決してプラスにはならない。
	商店街代表者	2月3日の節分の時恵方巻を販売。昨年500本販売したので今年は700本の目標をたてたが、なんと1000本クリアーし毎日20万そここの売上げの店だが60万以上の売上げだった。消費者はメディアに弱く買わないとブームに乗り遅れる気がするのか、あるいは使うべき時には使うのか、とにかく大忙しの日だった。
	寝具販売	新聞のチラシの量が減ってきた。新聞の集金の人に聞くと今は、携帯やパソコンでニュースや、テレビ番組なども見られるので新聞を取る家が年々少なくなっているとのこと。又、景気しだいでチラシの量も変わるとのこと。
	スーパー	1人当たりの客単価が落ちてきている。
	コンビニエンスストア	話題性のある商品については、今まで以上にロングライフで売れる傾向が強い。よってお客様は新しいものや情報に対しては、今まで以上に関心が高く、売り手の提案の仕方次第で売り上げも変わる。
	コンビニエンスストア	週末の外出が減少している家庭が多くなったこともあり、コンビニエンスストアの売り上げも週末は厳しい状況。
	家電販売店	全体的に景気が悪いため、調理器具（お弁当箱や水筒）が売れている。外食が減っている状況が見受けられる。
	自動車販売店	不動産業、建設業、公共工事、全く良くないようだ。しかし健康に関する物にはある年齢からはお金を使っているように思う。
	農産物直売所	景気が悪いとはいえ、何かの物日には、それなりの購買意欲が以前と変わらないような気がする。
	ガソリンスタンド	満タンにせず、10Lや、1000円分給油の客が多くなった。
	和食食堂	客の話が以前より悲観的で無くなって来ている様だが、それがただ不景気に慣れただけなのか上昇の気配なのか不明。
	和食食堂	中心商店街、全体に活気がない。
	和食レストラン、割烹	客単価の低い店に、移られている。平日と週末の売上げの差が激しいので仕入れシフト組が難しい。
	都市型ホテル	最近では、低価格で良質な物でないと客が購入してくれない。コスト削減など企業努力がますます必要になってくると思われる。
	ビジネスホテル	3月から4月にかけてだが、企業求人が低調で企業の新人研修等が例年より少ないようである。
	タクシー運転手	市内循環の無料バス路線が、4月から新たな路線が運行する。これにより、旧市街近辺へは何処でも無料でいけるようになりタクシーの仕事は少なくなると思われる。
	タクシー運転手	買い物に行く人は多いが買っている人は少なく見られる。
	ドライブイン	近くの商業施設に行くたび、テナントの閉店が目立っている。
	ドライブイン	詰め放題、訳アリのキーワードに客が敏感に反応している。
	ゲームセンター	毎年、この時期には引越などで、新規の来店が増加するのだが、今年はあまり見かけない。また、時期的に新しい店などが出てくるはずが見かけたのは1000円カットの床屋さんだけである。
	レジャー施設	値引きサービスが当たり前になり、消費者は値引きに敏感であり付加価値を付けるのが当然の時世になっている。
	理・美容店	今はなるべくお金をかけたくないと言う人が多い。カットする周期も伸びている。パーマなどもかける人が少ない。いかに世の中が不景気かわかる。サービス業もあおりを受けている。
	建築設計事務所	まだ動きはないが、省エネエコポイント制度が始まったので、住宅工事の景気に対し影響が今後出るかもしれない。期待したいところではある。
住宅販売会社	住宅版エコポイントに対する問い合わせを多く受ける。関心はあるようだが、即決断とまでは至らないのがもどかしい。	
企業	農業関係者	会社と農家（兼業農家の方々）の申告書作成手伝い内容を見ると前年より大幅に所得減少がみられる。いつになったら回復してくるのかと窓口でぼやく人が見られる。
	製造業（食料品）	駅前の商店街が区画整理されて広々と開放的になったが、これを機に商売をやめてしまう店も多い。綺麗なシャッター通りとは皮肉である。
	製造業（印刷・同関連業）	中小企業に限らず、大型店同士の競争も激しく、「まさか！」と思う大型店が近々撤退するとのこと。反面新興の大型店が、10月にオープンするとの事が数日前に経済新聞に載っていた。まさに経済戦争というべきか、戦国時代そのものだ。
	製造業（窯業・土石製品）	同業者ともよく会って話をしているがあまり良い方の話はないようだが少しは上向きになる感じだ。
	製造業（窯業・土石製品）	当社に近い鉄工関係の下請け会社のことだが、私が帰宅する時間頃は一年以上前はいつも忙しく残業していたが、去年の11月頃からほとんど残業していないし、昼間も稼働している様子がうかがえない。以前は「なんであんなに仕事があるんだろう」とうらやましく思ったりしたが、現在は同情の気持ちだ。
製造業（金属製品）	受注単価が低く、利益が望めない。	

建設業	地元商店はまったく良くない、住宅新築が町に見られない。	
運輸業（道路貨物運送業）	最近不動産関係、特にアパート関係が悪い。	
金融業	中小企業円滑化法の施行により、返済額軽減等の申し込みが増加中であり、まさに中小企業がおかれている現状と思われます。また、今後企業間の淘汰が進むと予想されることから、経営者は設備投資に消極的であり、事業のスリム化を進めています。さらに、雇用に於いても厳しい状況であり、回復期待は弱いものと感じています。	
不動産業	売買の相談、取引数とも数量的には増加、金額的には横ばいなものこの単価があがればさらに景気は上向くような気配。	
サービス業（コンサルタント業）	建築関係業者は全くと言ってよいほど仕事がない、少しの仕事を争って行うような状況だ。従って個人収入が伸びないというより減少してしまう現状だ。これはほんの一例だ。全ての業種業態で同じような現象が見受けられる。茨城県としても、公共事業でもなんでもいいから、景気刺激策を積極的におこなって頂きたい。	
雇用	人材派遣業	これからは、人材派遣の仕事が少なくなるので心配だ。
	求人広告	閉店してる店が多々見受けられるのでさみしい。
	学校就職関係者	求人開拓で訪問した企業では、赤字になってしまうような価格でしか仕事を受注できないということであった。赤字でも無いよりはましなので受注するという。赤字をどれだけ少なく受注できるかという話になっており、何のために仕事をしているかわからない、と嘆いていた。